

III. 事業所アンケート調査

1. 事業者意識調査

(1) 調査の概要

ア 調査の目的

「ごみゼロ社会実現プラン」の策定に当たって、将来あるべき「ごみゼロ社会」の姿や実現に向けた具体的な施策を検討する際の基礎資料とするため、事業者の取り組みや考え方について調査した。

イ 調査対象

業種等を考慮して県内に所在する 2,550 件の事業所を無作為抽出し調査対象とした。

ウ 調査方法

郵送によって調査票を発送、回収した。回収期限直後にはがきによる督促を行った。

エ 調査期間

平成 16 年 11 月 12 日に調査票を発送し、11 月 30 日を投函期限として回収した。投函期限直後に督促を行い、12 月 27 日到着分までを有効回答に含めた。

オ 回収状況

回収状況は次のとおりである。

有効発送数： 2,444 件（発送数：2,550 件 - 宛先不明等による返却数：106 件）
有効回収数： 1,039 件
有効回収率： 42.5%

業種ごとに見た調査票の回収状況は次のとおりである。

業種	発送数	回収数	単純回収率
農林漁業	80	46	57.5%
建設業	200	79	39.5%
製造業	600	259	43.2%
電気・ガス・熱供給・水道業	80	30	37.5%
運輸・情報通信業	150	53	35.3%
卸売・小売業、飲食店	600	123	20.5%
金融・保険・不動産業	160	67	41.9%
サービス業	600	264	44.0%
その他	80	54	-
無回答	-	64	-
合計	2,550	1,039	40.7%

「単純回収率」は、業種別に見た発送数に対する回収数の割合

「サービス業」は、宿泊業、医療、福祉、教育、学習支援業を含む。

「その他」は、公務を含む。「発送数」は、公務のみ

(2) 調査結果

ア 事業系ごみ(事業系一般廃棄物)の減量やリサイクルの取り組みについて

問1 あなたの事業所ではごみの減量化に取り組んでいますか。(○は1つ)

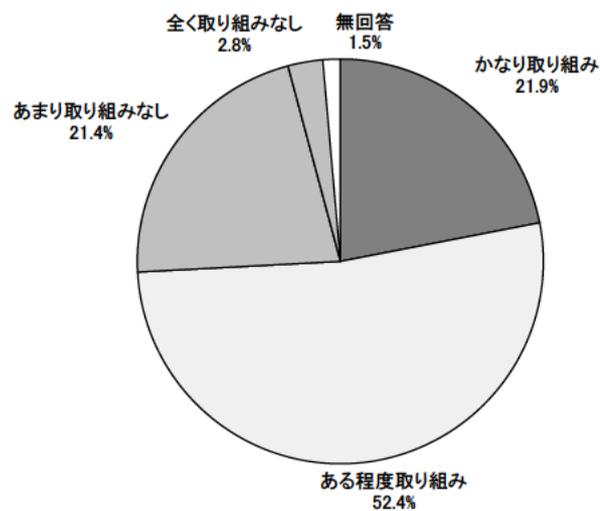
ごみ減量化に「取り組む」事業所が約74%と3/4を占める。

業種別では、「取り組む」割合は電気・ガス・熱供給・水道業、製造業、運輸・情報通信業で高くなっている。「取り組みなし」は農林漁業で高い。

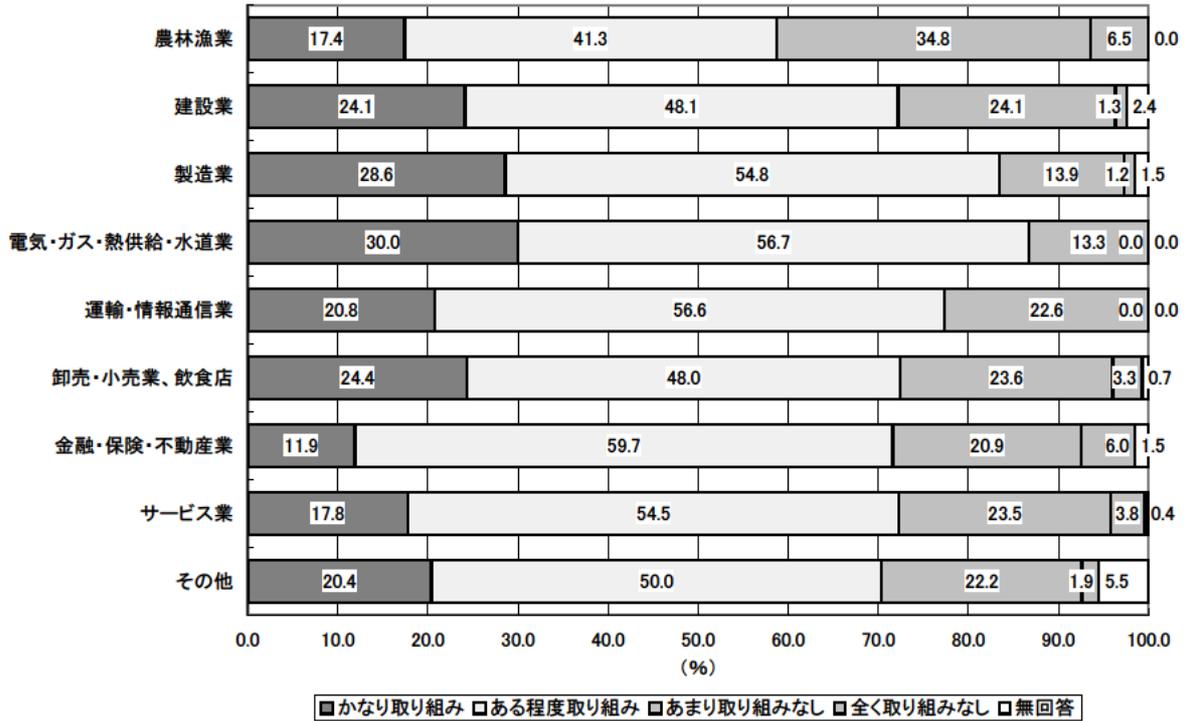
規模別では、従業者数が多くなるほど取り組む傾向が見られる。

図表 III-1 ごみ減量化の取り組み

選択肢	件数	割合(%)
1 かなり取り組み	228	21.9
2 ある程度取り組み	544	52.4
3 あまり取り組みなし	222	21.4
4 全く取り組みなし	29	2.8
無回答	16	1.5
全体	1039	100.0

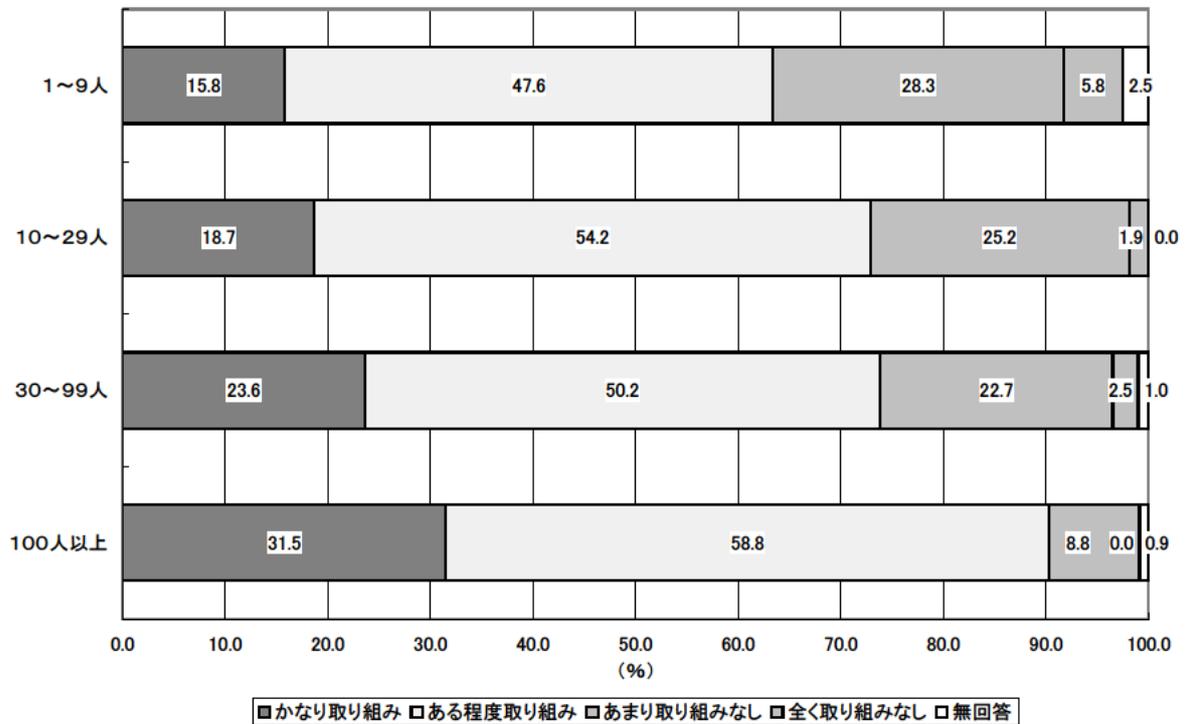


図表 III-2 業種×ごみ減量化の取り組み



※ 「その他」は公務を含む(以下同じ)

図表 III-3 従業員数×ごみ減量化の取り組み

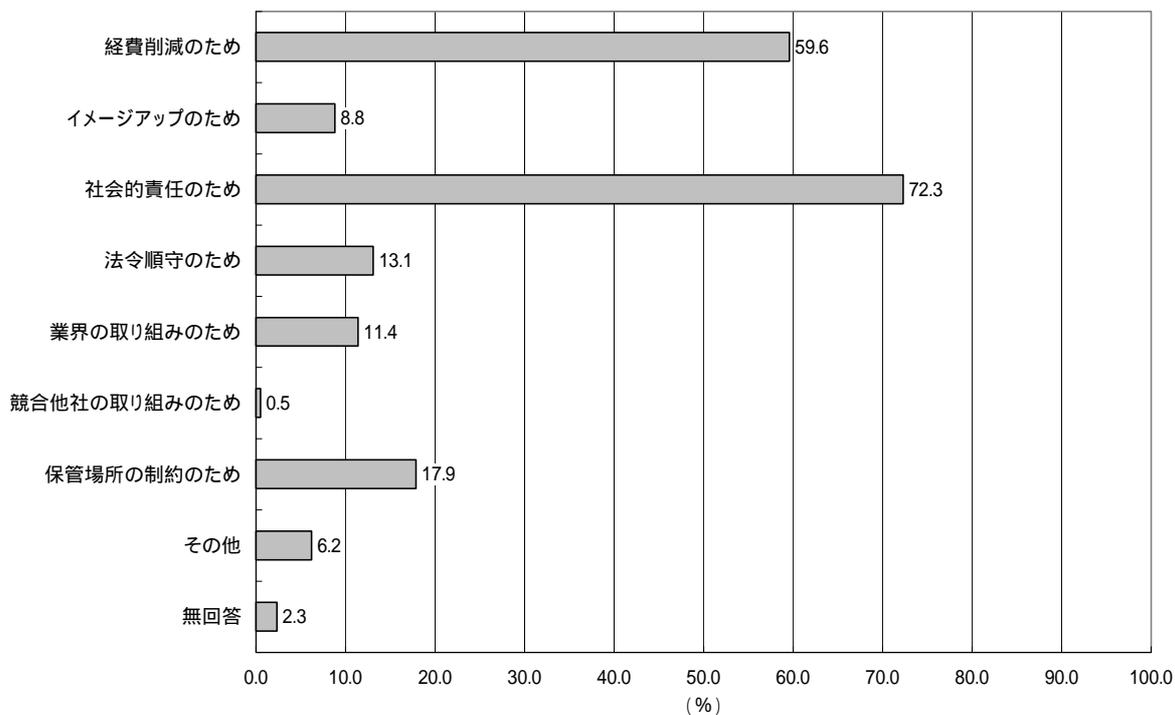


問2 (問1で「1 かなり取り組んでいる」「2 ある程度取り組んでいる」と答えた方のみ)ごみ減量化に取り組む理由は何ですか。(は3つまで)

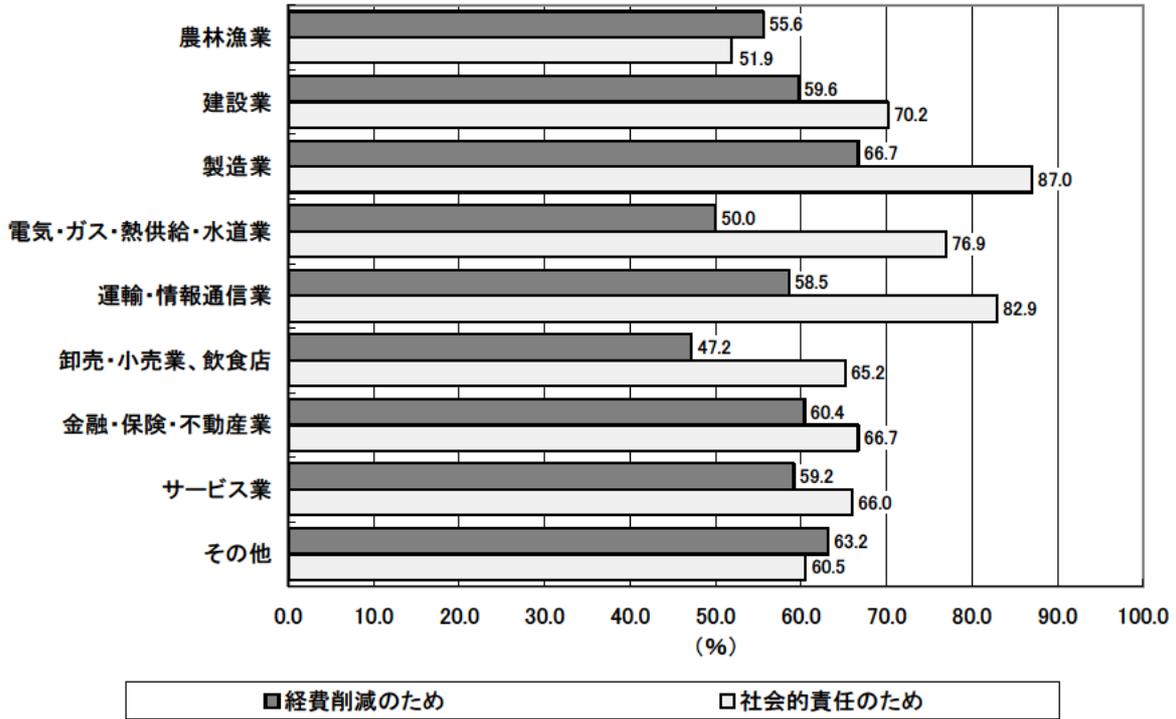
「社会的責任のため」とする回答が約72%と最も多く、「経費節減のため」の約60%を上回る。
 「社会的責任のため」という意識は、製造業、運輸・情報通信業、電気・ガス・熱供給・水道業で強い。
 規模別では、従業員数が多くなるほど「社会的責任のため」とする回答が多くなる。従業員数が10人未満の事業所では、「経費節減のため」が「社会的責任のため」を少しではあるが上回っている。

図表 III-4 ごみ減量化に取り組む理由(複数回答)

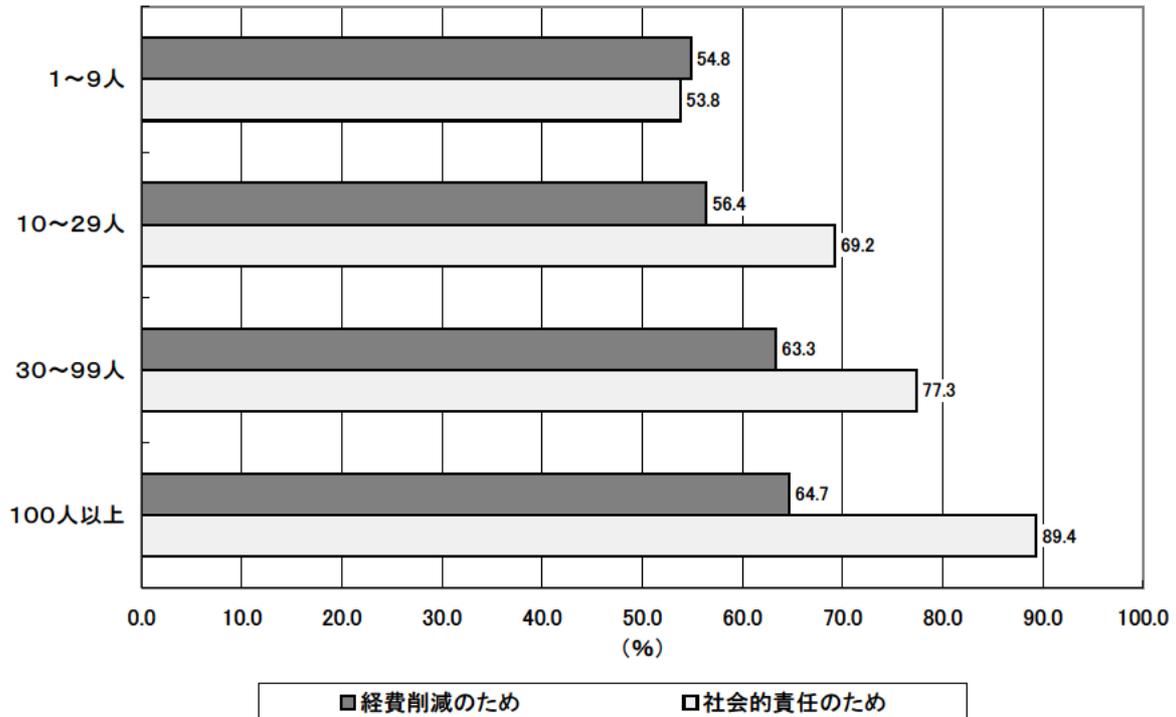
選択肢	件数	割合(%)
1 経費削減のため	460	59.6
2 イメージアップのため	68	8.8
3 社会的責任のため	558	72.3
4 法令順守のため	101	13.1
5 業界の取り組みのため	88	11.4
6 競合他社の取り組みのため	4	0.5
7 保管場所の制約のため	138	17.9
8 その他	48	6.2
無回答	18	2.3



図表 III-5 業種×ごみ減量化に取り組む理由(複数回答)(上位2位まで)



図表 III-6 従業員数×ごみ減量化に取り組む理由(複数回答)(上位2位まで)

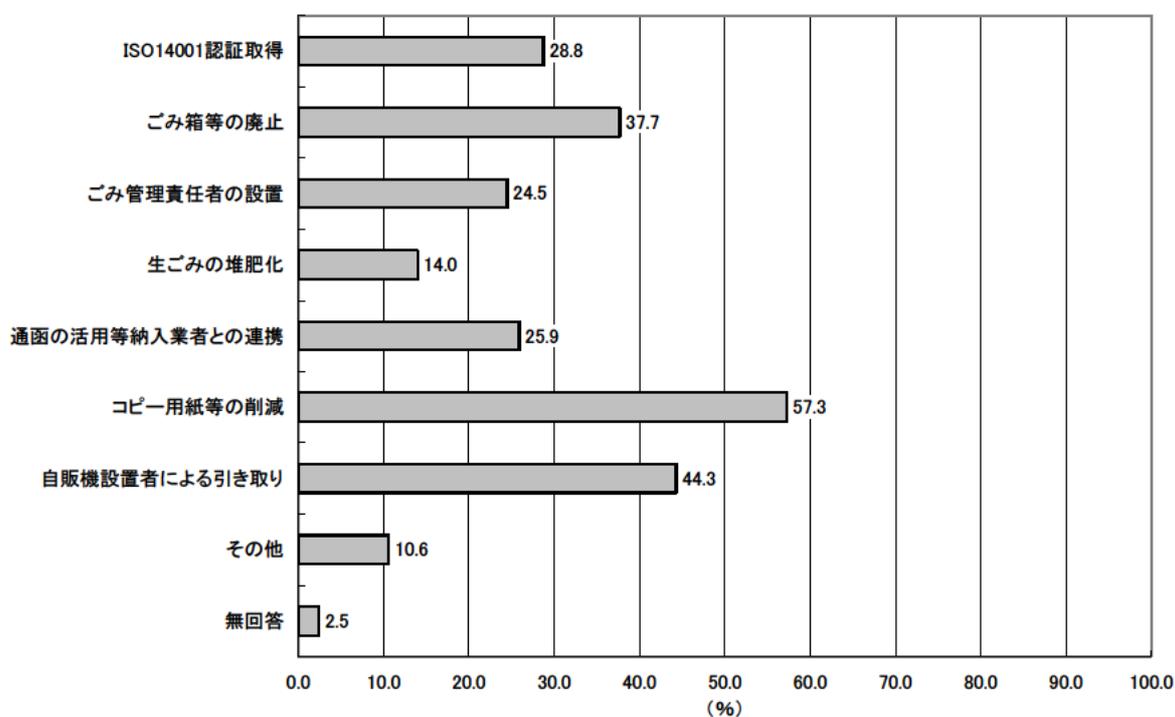


問3 (問1で「1 かなり取り組んでいる」「2 ある程度取り組んでいる」と答えた方のみ) あなたの事業所ではどのようなごみ減量に取り組んでいますか。(当てはまるすべてに○)

「コピー用紙等の削減」が約57%と最も高く、「自販機設置者による引き取り」(約44%)、「ごみ箱等の廃止」(約38%)と続く。

図表 III-7 ごみ減量の取り組み内容(複数回答)

選択肢	件数	割合(%)
1 ISO14001認証取得	222	28.8
2 ごみ箱等の廃止	291	37.7
3 ごみ管理責任者の設置	189	24.5
4 生ごみの堆肥化	108	14.0
5 通函の活用等納入業者との連携	200	25.9
6 コピー用紙等の削減	442	57.3
7 自販機設置者による引き取り	342	44.3
8 その他	82	10.6
無回答	19	2.5



問4 (問1で「3 あまり取り組んでいない」「4 全く取り組んでいない」と答えた方のみ) あなたの事業所でごみ減量に取り組んでいないのはなぜですか。(○は3つまで)

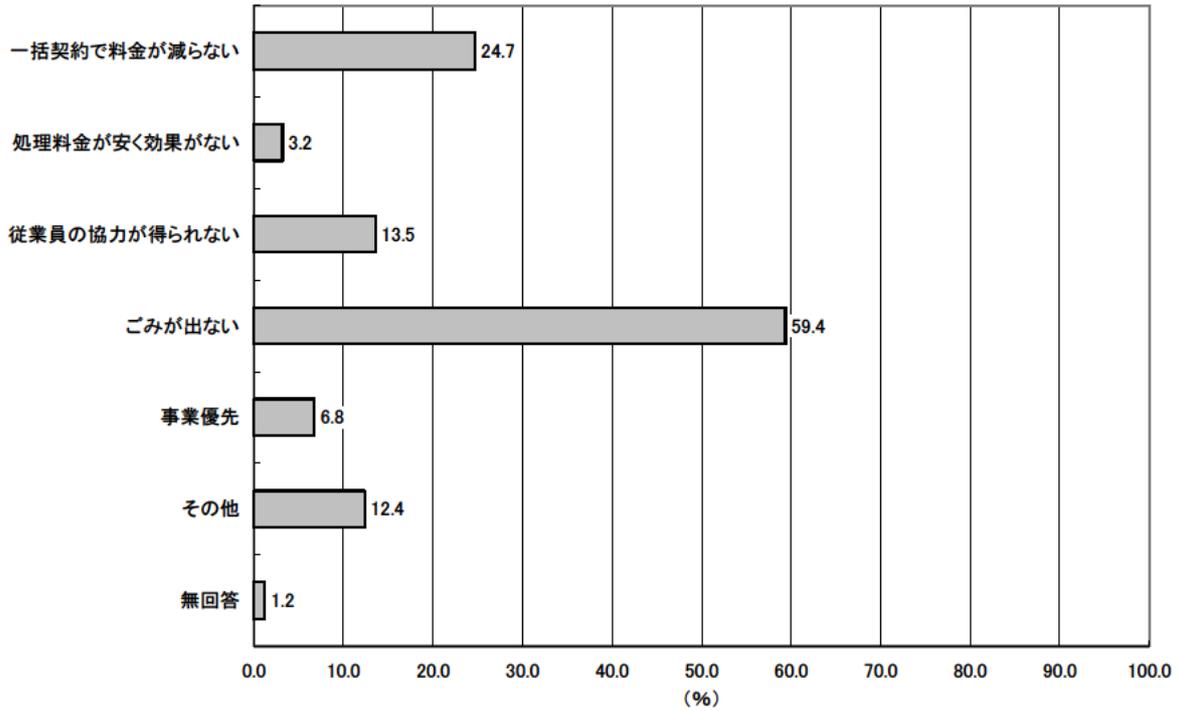
ごみ減量に取り組まない理由は、「ごみが出ない」が約59%と最も高く、次いで「一括契約で料金が減らない」が約25%ある。

業種別では、「ごみが出ない」は建設業、農林漁業で、「一括契約で料金が減らない」は卸売・小売業、飲食店、サービス業、製造業で高くなっている。

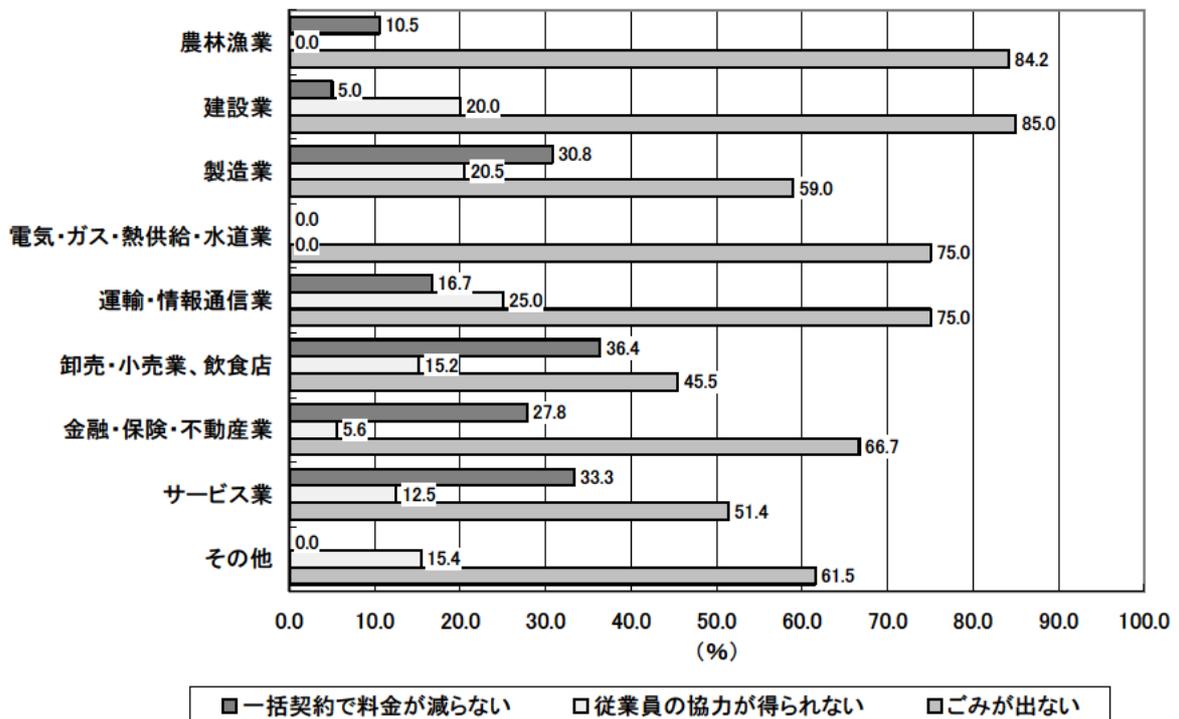
規模別では、従業員数が増えるほど「ごみが出ない」が減少し、「一括契約で料金が減らない」が増える傾向が見られる。

図表 III-8 ごみ減量化に取り組まない理由(複数回答)

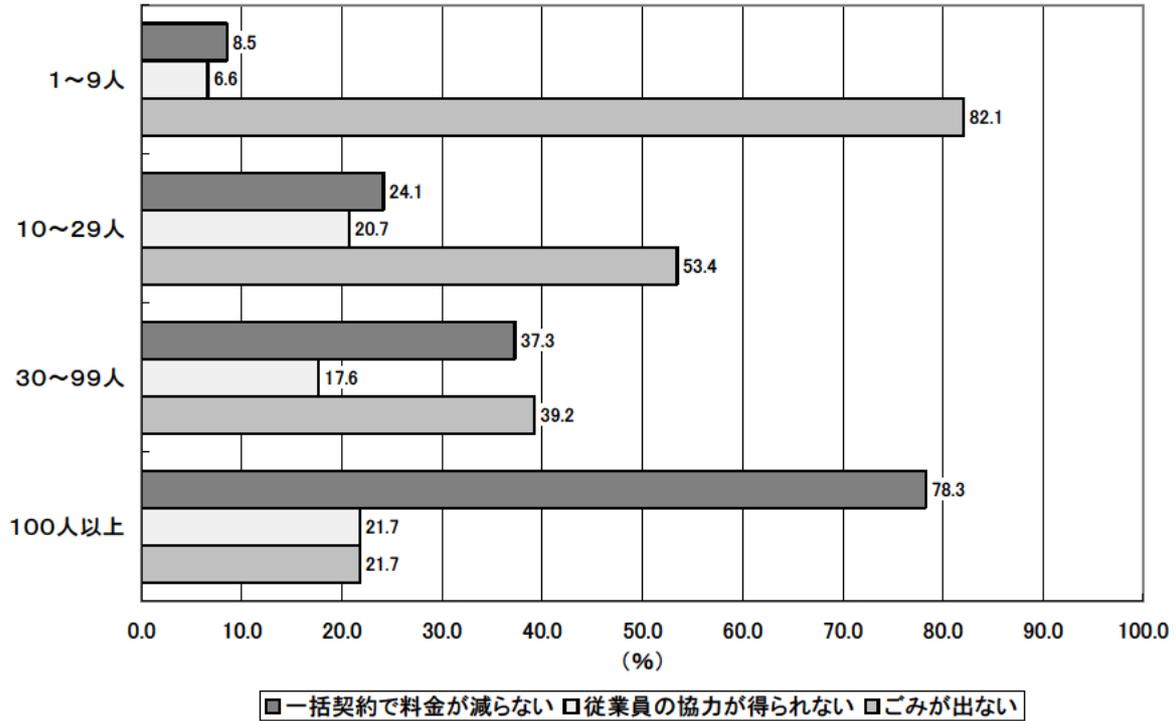
選択肢	件数	割合(%)
1 一括契約で料金が減らない	62	24.7
2 処理料金が安く効果がない	8	3.2
3 従業員の協力が得られない	34	13.5
4 ごみが出ない	149	59.4
5 事業優先	17	6.8
6 その他	31	12.4
無回答	3	1.2



図表 III-9 業種×ごみ減量化に取り組まない理由(複数回答)(上位3位まで)



図表 III-10 従業員数×ごみ減量化に取り組まない理由(複数回答)(上位3位まで)

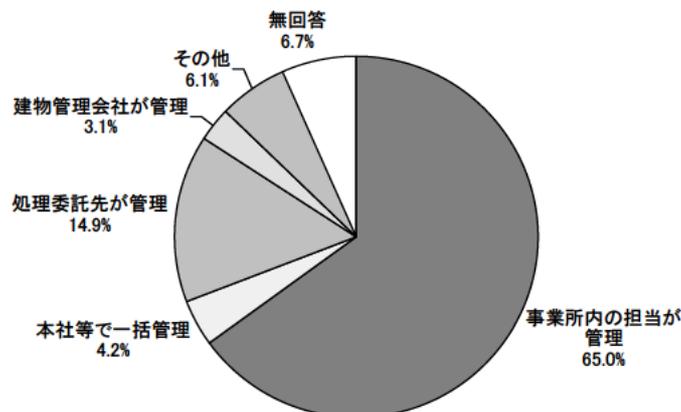


問5 あなたの事業所から出たごみは誰が管理していますか？(○は1つ)

「事業所内の担当が管理」が65%を、また「処理委託先が管理」も約15%を占める。

図表 III-11 ごみの管理者

選択肢	件数	割合(%)
1 事業所内の担当が管理	675	65.0
2 本社等で一括管理	44	4.2
3 処理委託先が管理	155	14.9
4 建物管理会社が管理	32	3.1
5 その他	63	6.1
無回答	70	6.7
全体	1039	100.0



イ 事業所から出る事業系ごみ(事業系一般廃棄物)について

問6 あなたの事業所ではごみはどのように処理していますか？(○は1つ)

「業者委託」が約 49%とほぼ半数を占める。この他、「ごみ集積所に排出」が約 25%、「市町村の処理施設に持ち込み」が約 14%見られる。

業種別では、「業者委託」は製造業(約 72%)、運輸・情報通信業(約 62%)で高く、農林漁業(約 24%)、建設業(約 34%)で低くなっている。

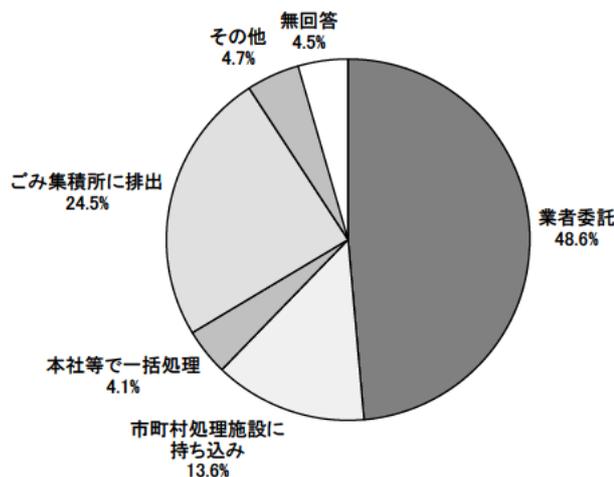
規模別に見ると従業員数が多くなるほど「業者委託」が増加し、「ごみ集積所に排出」が減少する。従業員数が 100 人以上の事業所では「業者委託」が約 82%と大半を占めるのに対し、同 10 人未満の事業所では「ごみ集積所に排出」が約 52%と半数を超える。

収集運搬業者に委託している事業所の内訳を規模別に見ると、従業員数が 100 人以上の事業所が約 42%、30 人以上 100 人未満の事業所が約 25%と、30 人以上の事業所が 7 割近くを占めている。

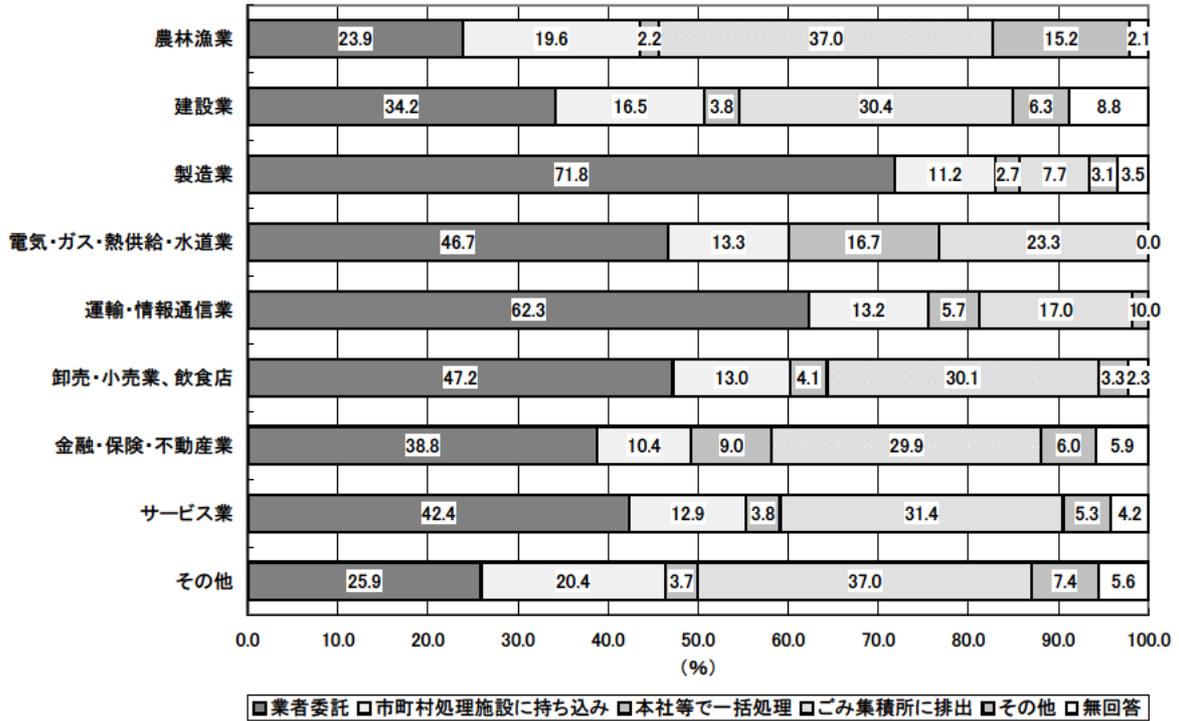
同様にごみ集積所に出している事業所の内訳を規模別に見ると、従業員数が 10 人未満の事業所が約 64%、10 人以上 30 人未満の事業所が約 22%と、30 人未満の事業所が 9 割近くを占めており、業者委託の場合と対照的な傾向を示している。

図表 III-12 ごみの処理方法

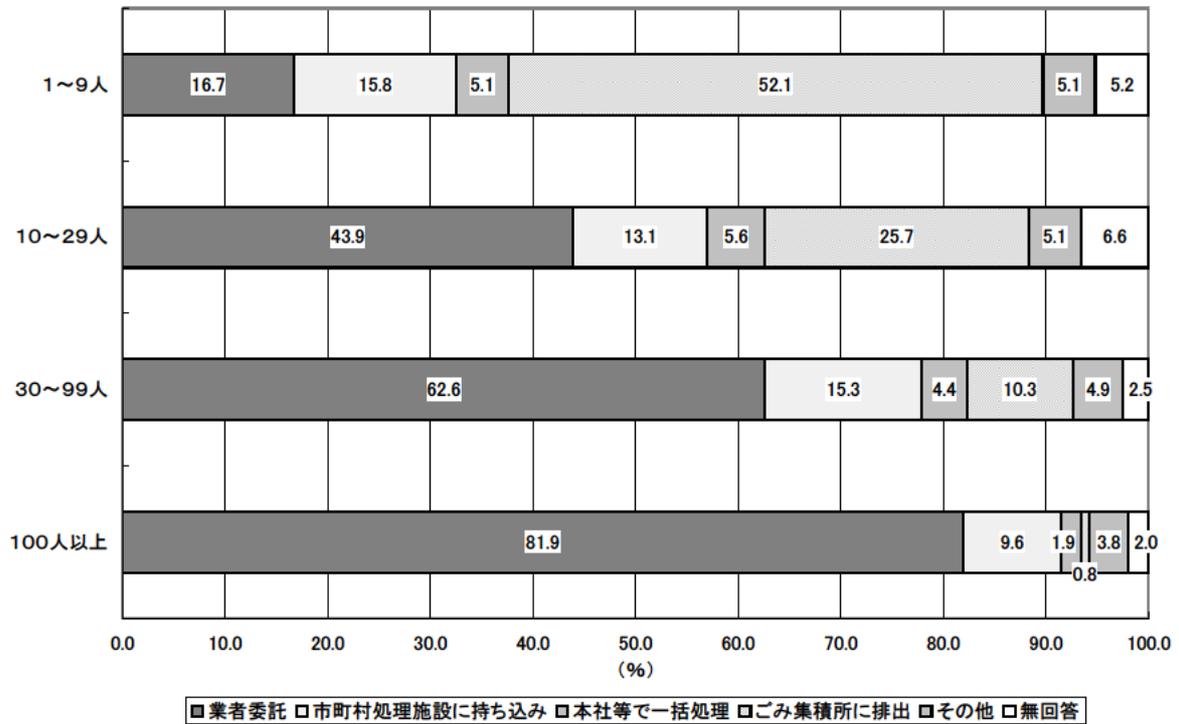
選択肢	件数	割合(%)
1 業者委託	505	48.6
2 市町村処理施設に持ち込み	141	13.6
3 本社等で一括処理	43	4.1
4 ごみ集積所に排出	255	24.5
5 その他	49	4.7
無回答	46	4.5
全体	1039	100.0



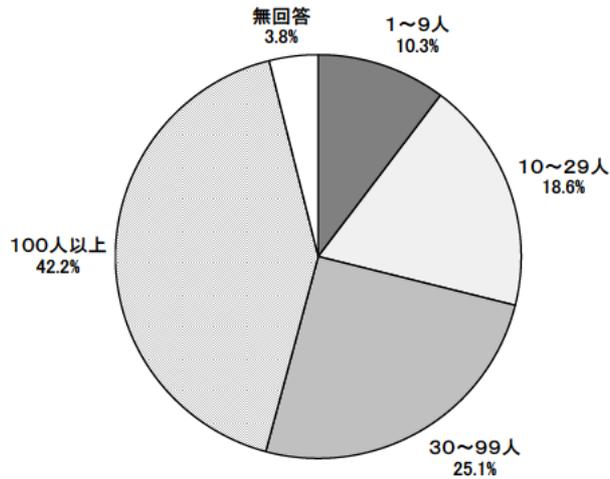
図表 III-13 業種×ごみの処理方法



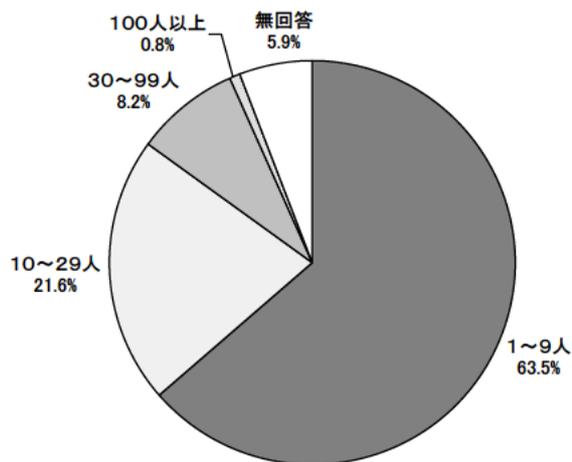
図表 III-14 従業員数×ごみの処理方法



図表 III-15 業者委託事業所の従業員数別内訳



図表 III-16 集積所排出事業所の従業員数別内訳

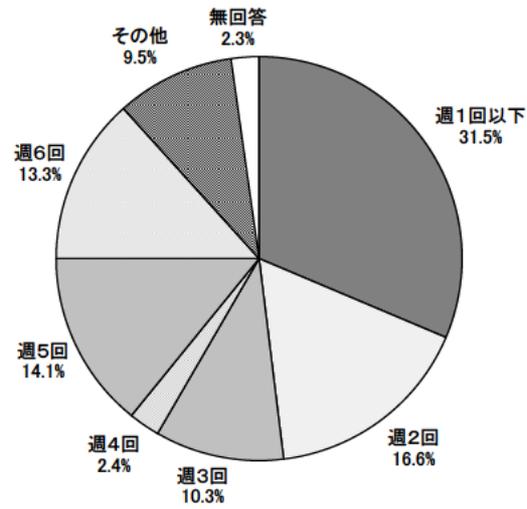


問7 (問6で「1 収集運搬業者に委託している」と答えた方のみ)
 収集運搬業者との契約では、収集は週何回くらいですか。(〇は1つ)

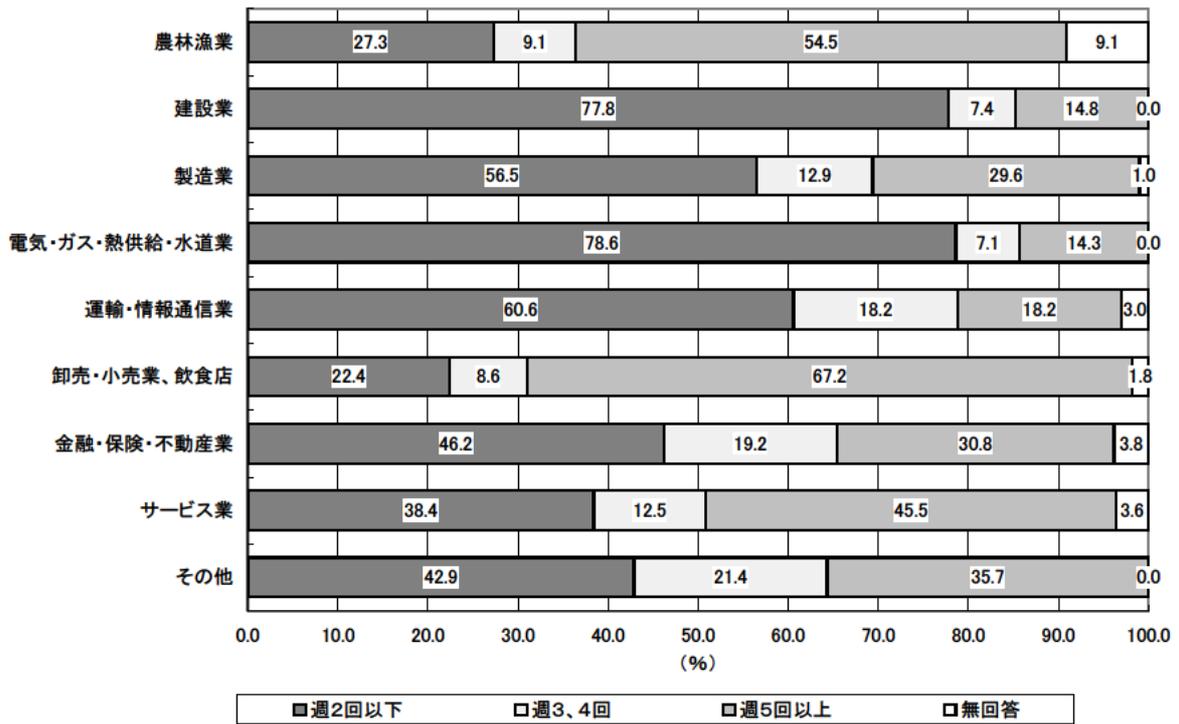
週2回以下が約48%とほぼ半数を占める一方、週5・6回も約27%を占める。
 業種別では、週2回以下は電気・ガス・熱供給・水道業、建設業で高く、週5回以上は卸売・小売業、飲食店、農林漁業で高くなっている。

図表 III-17 収集運搬業者による収集頻度

選択肢	件数	割合(%)
1 週1回以下	159	31.5
2 週2回	84	16.6
3 週3回	52	10.3
4 週4回	12	2.4
5 週5回	71	14.1
6 週6回	67	13.3
7 その他	48	9.5
無回答	12	2.3
全体	505	100.0



図表 III-18 業種 × 収集運搬業者による収集頻度

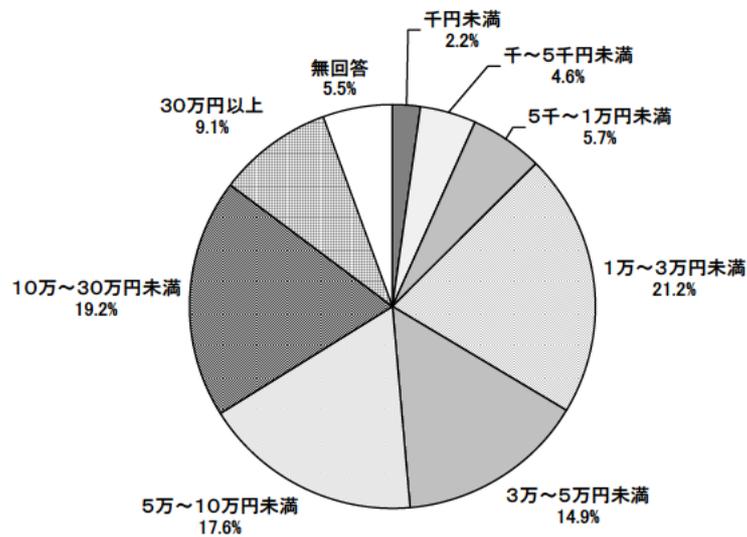


問8 (問6で「1 収集運搬業者に委託している」と答えた方のみ)
 あなたの事業所では、ひと月あたりのごみ処理費はどのくらいですか。(○は1つ)

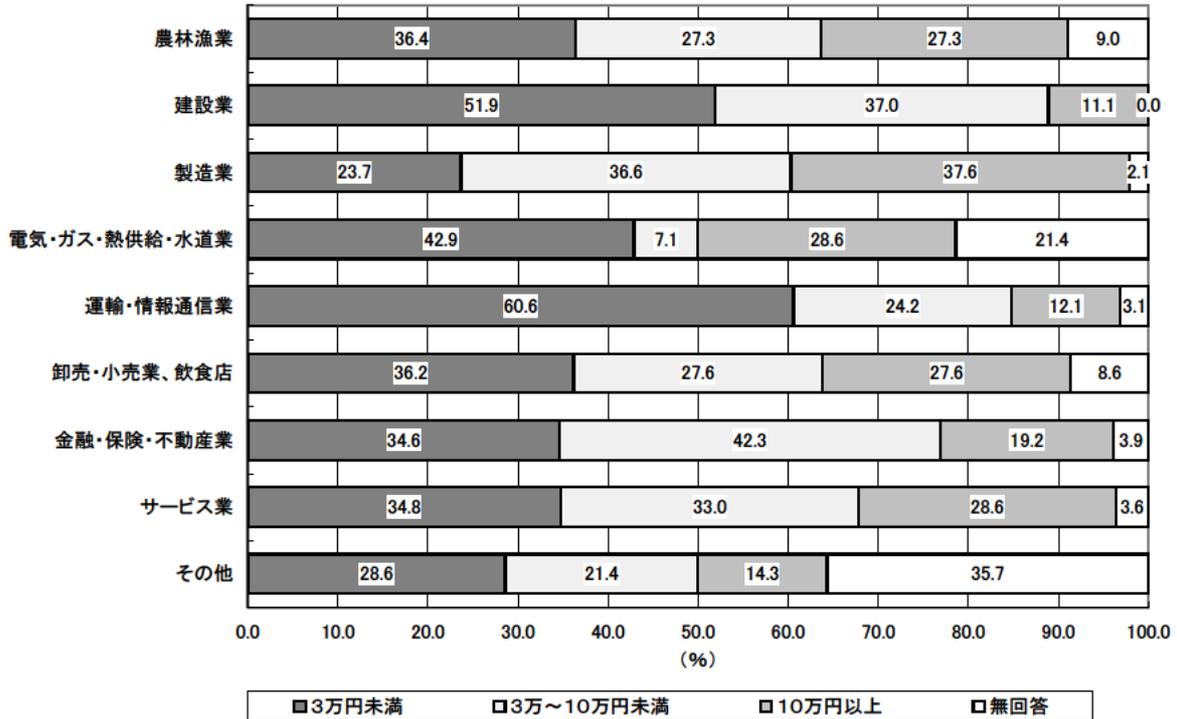
1万円未満は約13%に止まり、5万円以上が約46%と約半数を占める。
 業種別では、3万円未満は運輸・情報通信業、建設業で高く、10万円以上は製造業で高くなっている。

図表 III-19 収集運搬業者への委託費月額

選択肢	件数	割合(%)
1 千円未満	11	2.2
2 千～5千円未満	23	4.6
3 5千～1万円未満	29	5.7
4 1万～3万円未満	107	21.2
5 3万～5万円未満	75	14.9
6 5万～10万円未満	89	17.6
7 10万～30万円未満	97	19.2
8 30万円以上	46	9.1
無回答	28	5.5
全体	505	100.0



図表 III-20 業種 × 収集運搬業者への委託費月額



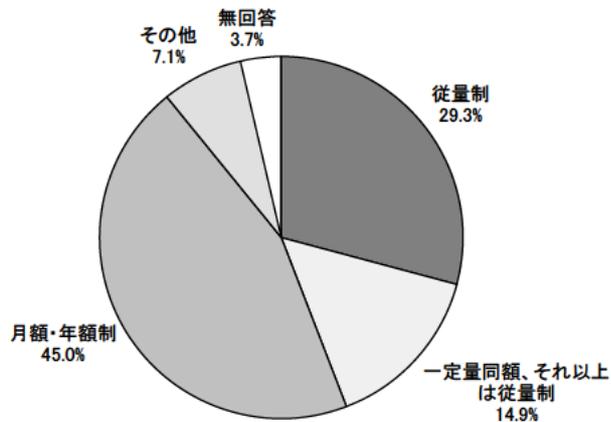
問9 (問6で「1 収集運搬業者に委託している」と答えた方のみ)

ごみの処理料金はどのように決めていますか？ (○は1つ)

「月額・年額制」(定額制)が45%とほぼ半数を占め、「従量制」は約29%、「一定量同額、それ以上は従量制」(併用制)は約15%に止まっている。

図表 III-21 収集運搬業者との委託形態

選択肢	件数	割合(%)
1 従量制	148	29.3
2 一定量同額、それ以上は従量制	75	14.9
3 月額・年額制	227	45.0
4 その他	36	7.1
無回答	19	3.7
全体	505	100.0

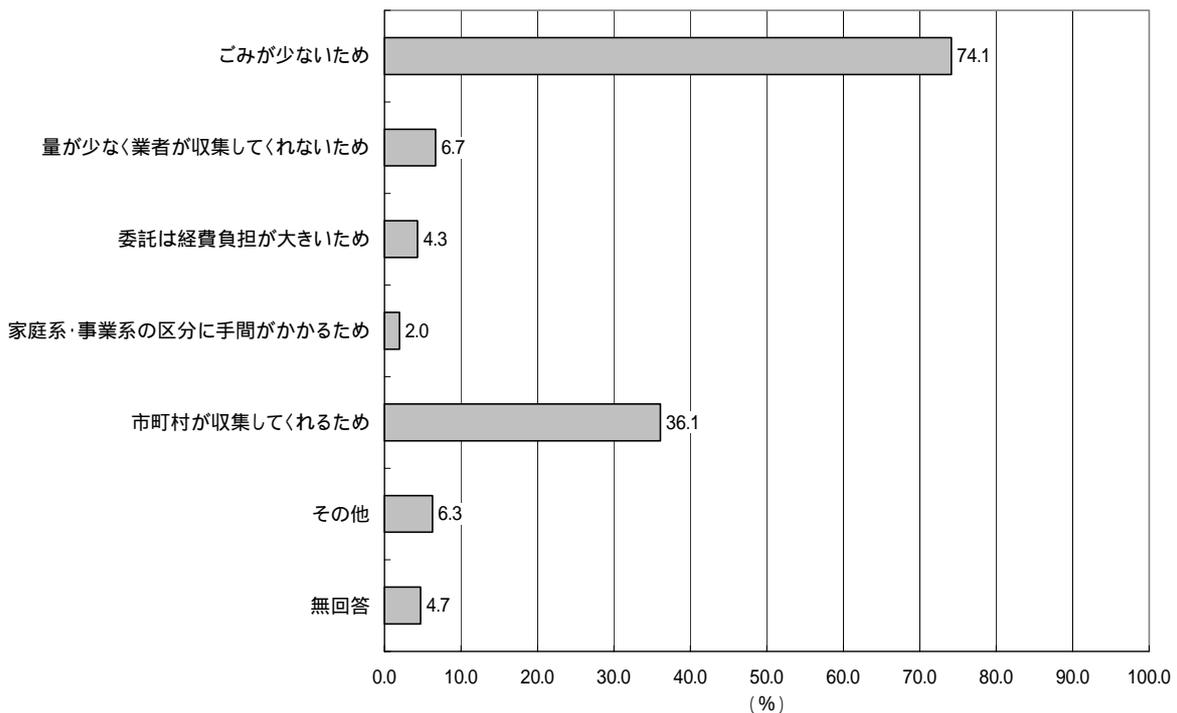


問 10 (問 6 で「4 地域のごみ集積所に出している」と答えた方のみ)
 収集運搬業者にごみ処理を委託せず、地域のごみ集積所に出すのはなぜですか。(は 2 つまで)

「ごみが少ないため」が約 74%、「市町村が収集してくれるため」が約 36%と高い。

図表 III-22 ごみ集積所に排出する理由(複数回答)

選択肢	件数	割合(%)
1 ごみが少ないため	189	74.1
2 量が少なく業者が収集してくれないため	17	6.7
3 委託は経費負担が大きい	11	4.3
4 家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	5	2.0
5 市町村が収集してくれるため	92	36.1
6 その他	16	6.3
無回答	12	4.7



問 11 1週間あたりのごみ排出量はおおよそどのくらいですか？45リットルのごみ袋に換算して、その個数でお答えください。(は 1 つ)

「それ(7袋)以上」が31%と最も多い反面、「ほとんど出ない」を加えた「1袋未満」も約20%を占める。

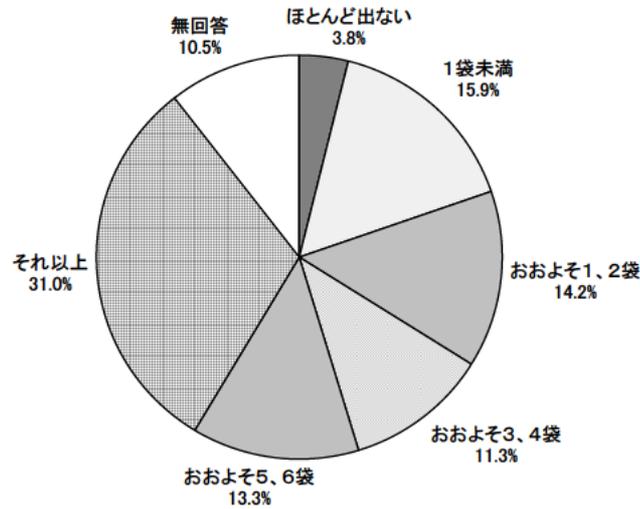
業種別では、「2袋以下」は農林漁業、金融・保険・不動産業、建設業で高く、「それ(7袋)以上」は製造業で高くなっている。

規模別に見ると、従業員数が多くなるほどごみの排出量も増え、従業員数が100人以上の事業所では「それ(7袋)以上」が約67%となっている。一方、従業員数が10人未満の事業所では「2袋以下」が約72%を占める。

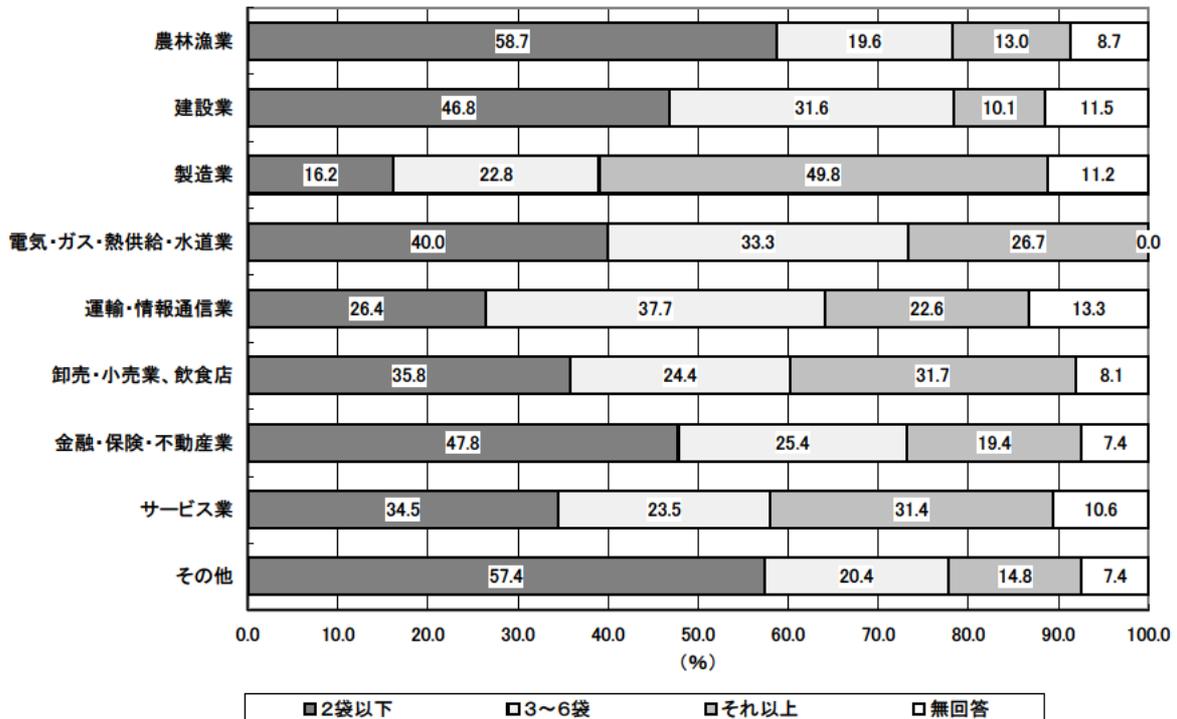
ごみ処理方法別では、「ごみ集積所に排出」の場合は「2袋以下」が約75%を占め、「業者委託」の場合は「それ(7袋)以上」が約52%を占める。また、ごみの排出量が多くなるほど業者委託で処理する傾向が見られる。

図表 III-23 1週間当たりのごみ排出量(45リットルごみ袋換算)

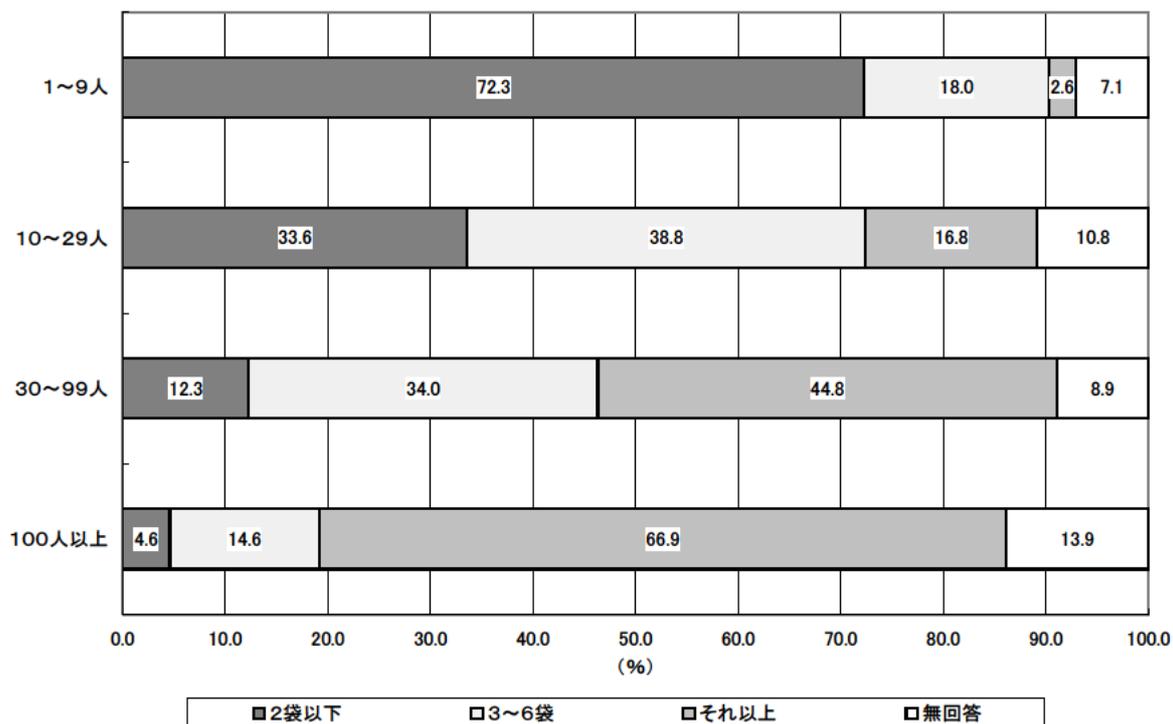
選択肢	件数	割合(%)
1 1袋未満	165	15.9
2 おおよそ1、2袋	148	14.2
3 おおよそ3、4袋	117	11.3
4 おおよそ5、6袋	138	13.3
5 それ以上	322	31.0
6 ほとんど出ない	40	3.8
無回答	109	10.5
全体	1039	100.0



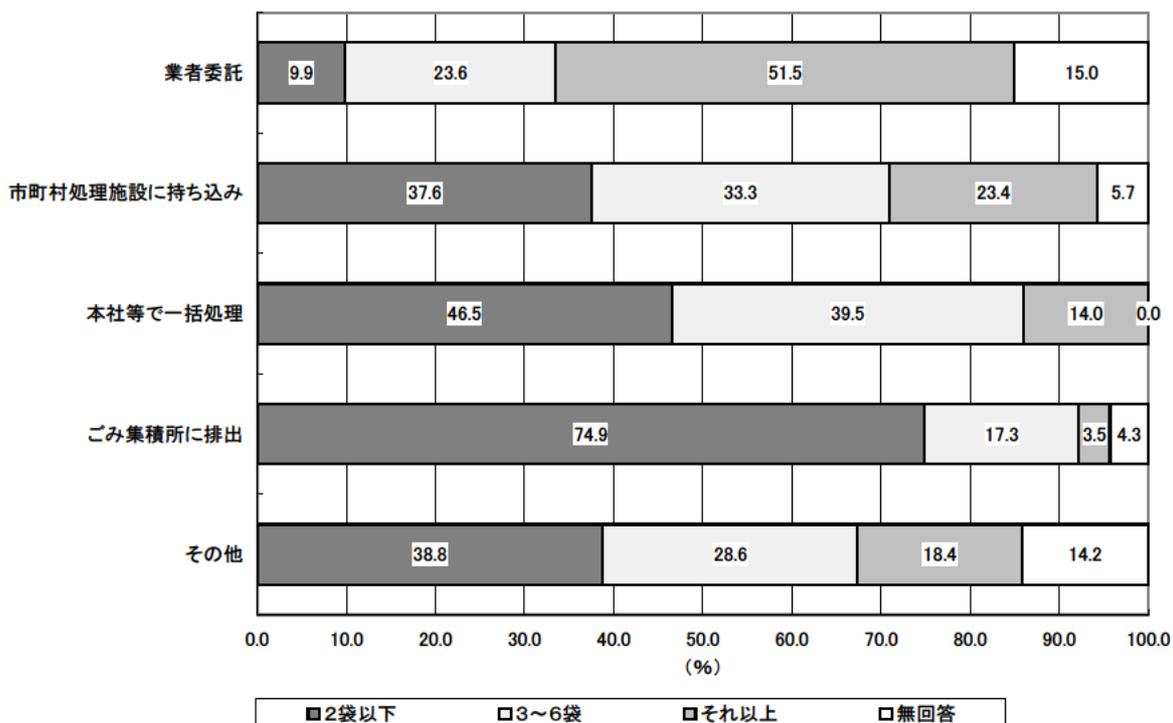
図表 III-24 業種×1週間当たりのごみ排出量(45リットルごみ袋換算)



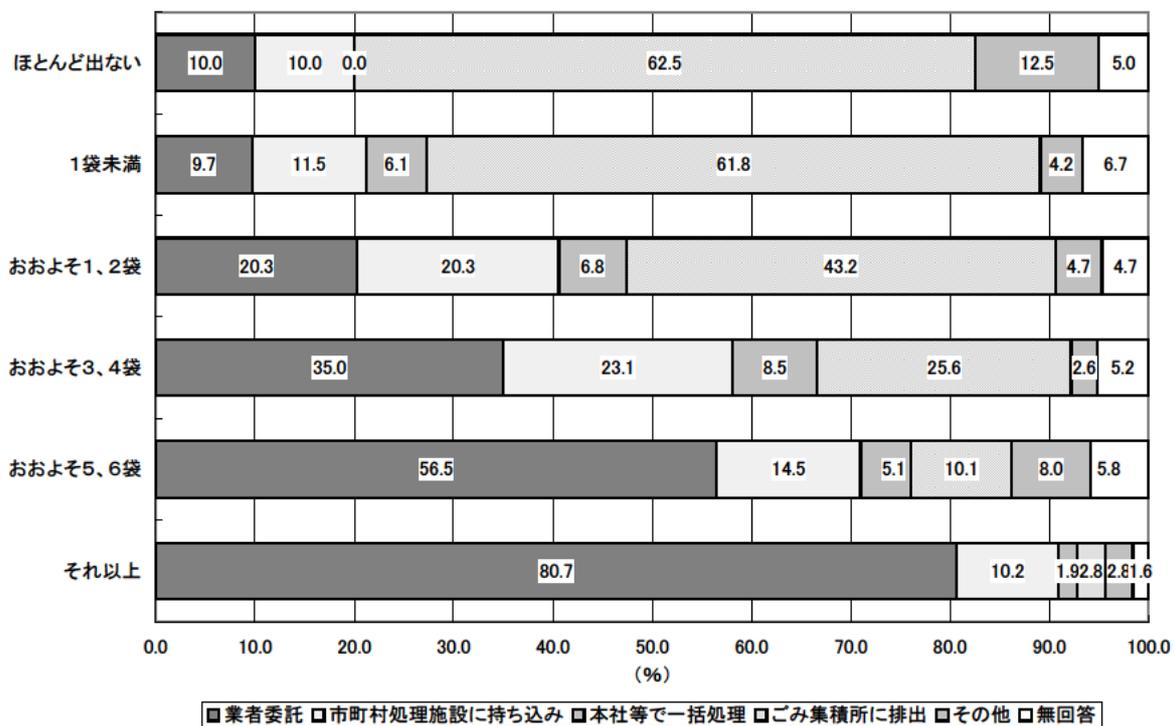
図表 III-25 従業員数×1週間当たりのごみ排出量(45リットルごみ袋換算)



図表 III-26 ごみの処理方法×1週間当たりのごみ排出量(45リットルごみ袋換算)



図表 III-27 1週間当たりのごみ排出量(45リットルごみ袋換算)×ごみの処理方法



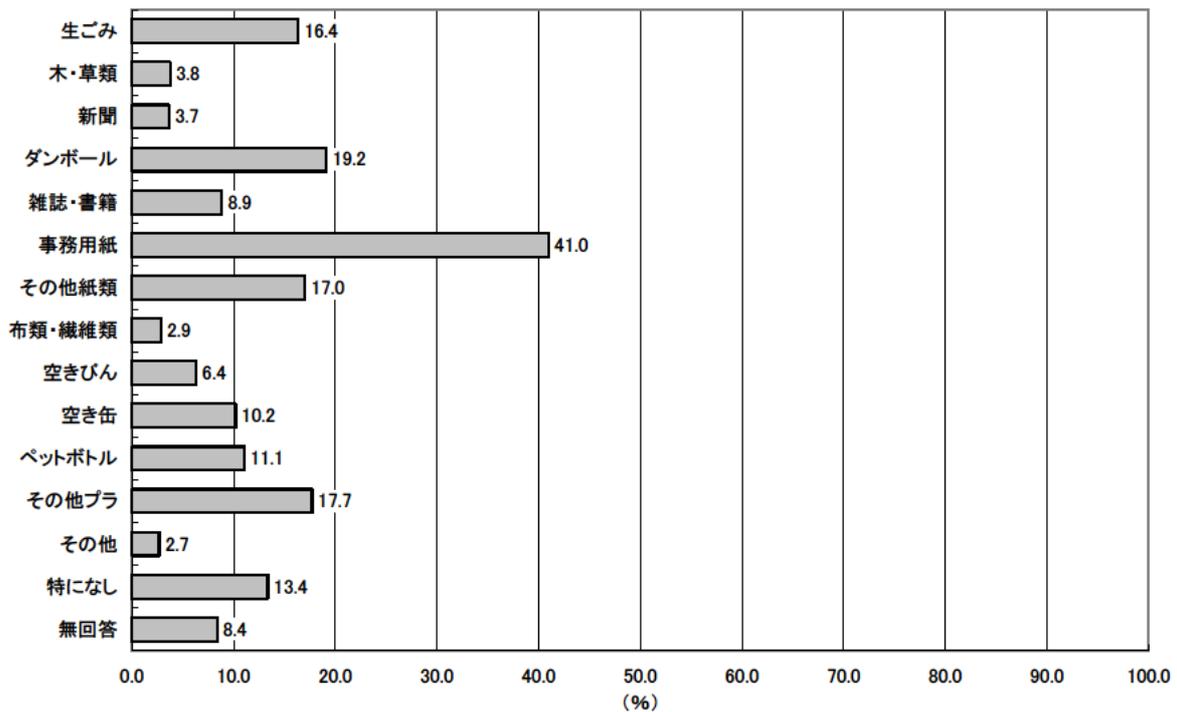
ウ 今後の方策や意向について

問 14 今後あなたの事業所で特に減らしたいと考えているごみは何ですか。（当てはまるすべてに○）

「事務用紙」が 41%と最も高く、以下、「ダンボール」の約 19%、「その他プラ」の約 18%、「その他紙類」の 17%、「生ごみ」の約 16%と続く。全体として、紙類、プラスチック類が高い。

図表 III-28 今後減量したいごみ(複数回答)

選択肢	件数	割合(%)
1 生ごみ	170	16.4
2 木・草類	39	3.8
3 新聞	38	3.7
4 ダンボール	199	19.2
5 雑誌・書籍	92	8.9
6 事務用紙	426	41.0
7 その他紙類	177	17.0
8 布類・繊維類	30	2.9
9 空きびん	66	6.4
10 空き缶	106	10.2
11 ペットボトル	115	11.1
12 その他プラ	184	17.7
13 その他	28	2.7
14 特になし	139	13.4
無回答	87	8.4

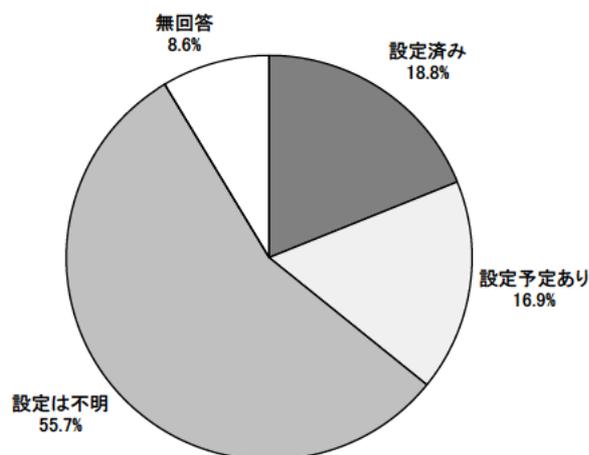


問 15 あなたの事業所では、ごみの減量目標は定めていますか。（○は1つ）

既に「設定済み」の事業所は約 19%で、「設定予定あり」を含めた積極姿勢を持つ事業所が約 36%見られる。

図表 III-29 ごみ減量目標の設定状況

選択肢	件数	割合(%)
1 設定済み	195	18.8
2 設定予定あり	176	16.9
3 設定は不明	579	55.7
無回答	89	8.6
全体	1039	100.0

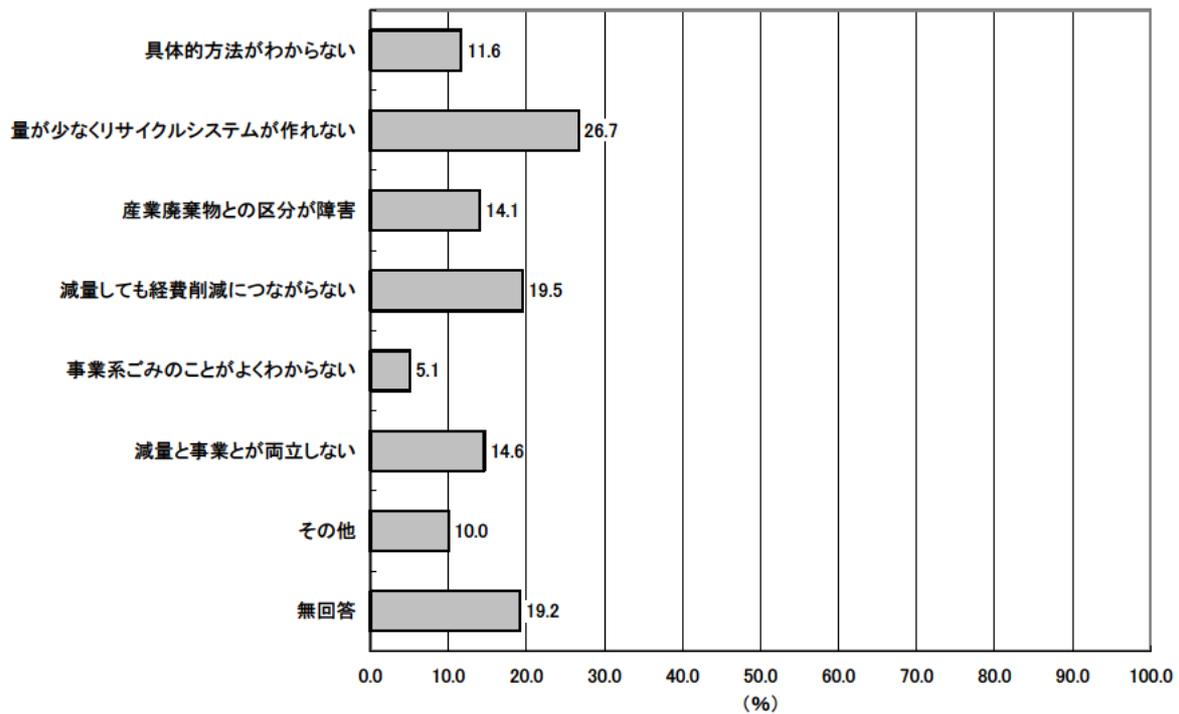


問 16 あなたの事業所では、ごみを減らしたり、リサイクルを進めるに当たってどのような問題がありますか。（○は2つまで）

「量が少なくリサイクルシステムが作れない」が約 27%と最も高く、「減量しても経費削減につながらない」(約 20%)、「減量と事業とが両立しない」(約 15%)と続く。

図表 III-30 ごみ減量・リサイクル推進上の問題点(複数回答)

選択肢	件数	割合(%)
1 具体的方法がわからない	121	11.6
2 量が少なくリサイクルシステムが作れない	277	26.7
3 産業廃棄物との区分が障害	146	14.1
4 減量しても経費削減につながらない	203	19.5
5 事業系ごみのことがよくわからない	53	5.1
6 減量と事業とが両立しない	152	14.6
7 その他	104	10.0
無回答	199	19.2

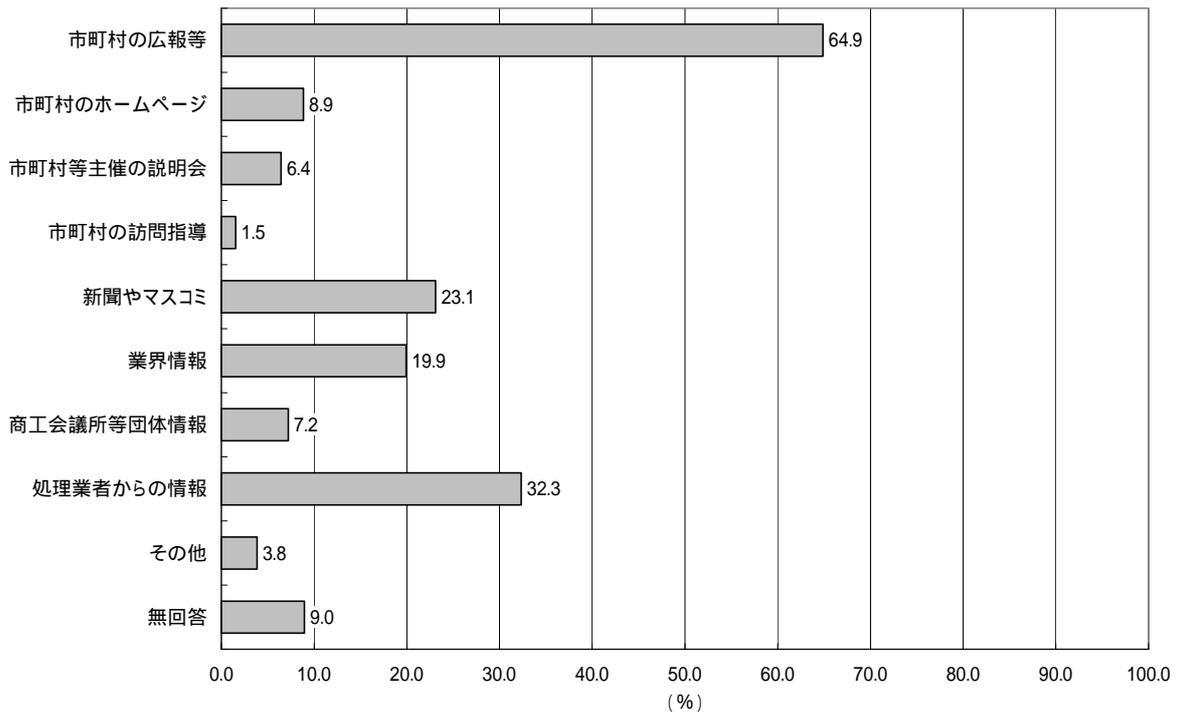


問 17 ごみに関する情報を、あなたの事業所はどのような方法で手に入れていますか？
 (〇は3つまで)

「市町村の広報等」が約 65%と最も高く、「処理業者からの情報」が約 32%、「新聞やマスコミ」が約 23%、「業界情報」が約 20%と続く。

図表 III-31 情報入手方法(複数回答)

選択肢	件数	割合(%)
1 市町村の広報等	674	64.9
2 市町村のホームページ	92	8.9
3 市町村等主催の説明会	67	6.4
4 市町村の訪問指導	16	1.5
5 新聞やマスコミ	240	23.1
6 業界情報	207	19.9
7 商工会議所等団体情報	75	7.2
8 処理業者からの情報	336	32.3
9 その他	40	3.8
無回答	93	9.0



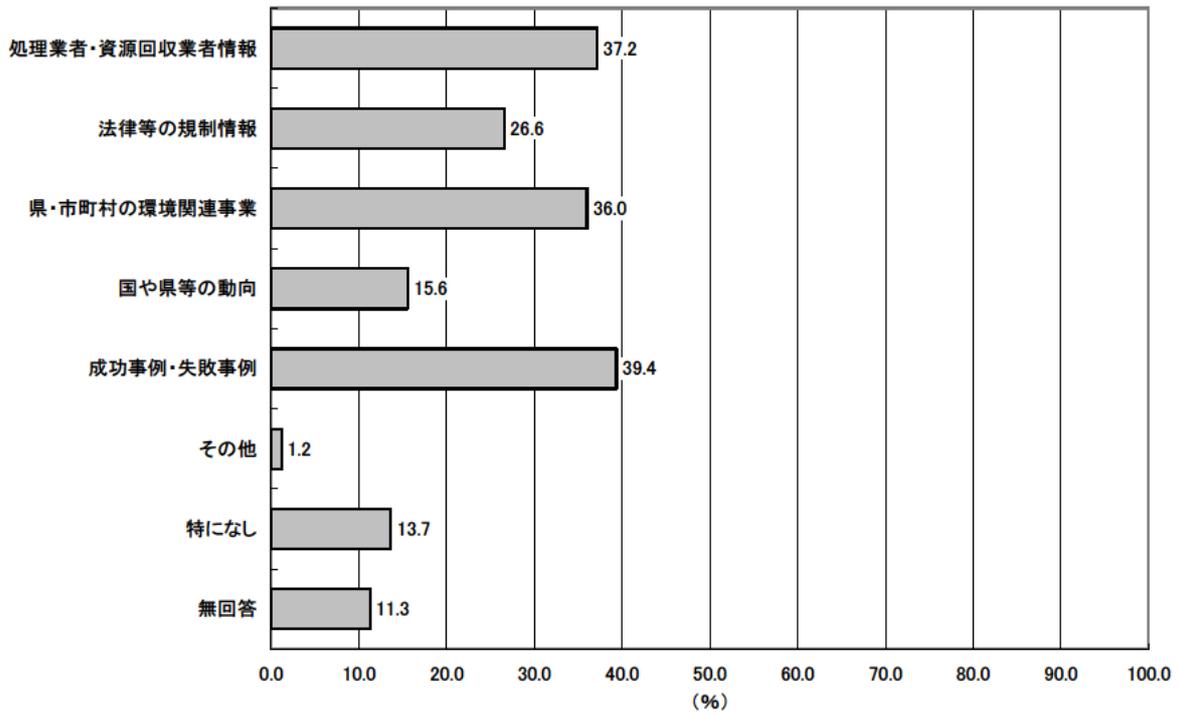
問 18 今後の具体的なごみ減量やリサイクルの取り組みを検討するうえでぜひ欲しいと思う情報はありますか。(は3つまで)

「成功事例・失敗事例」が約 39%、「処理業者・資源回収業者情報」が約 37%、「県・市町村の環境関連事業」が 36%、「法律等の規制情報」が約 27%となっている。

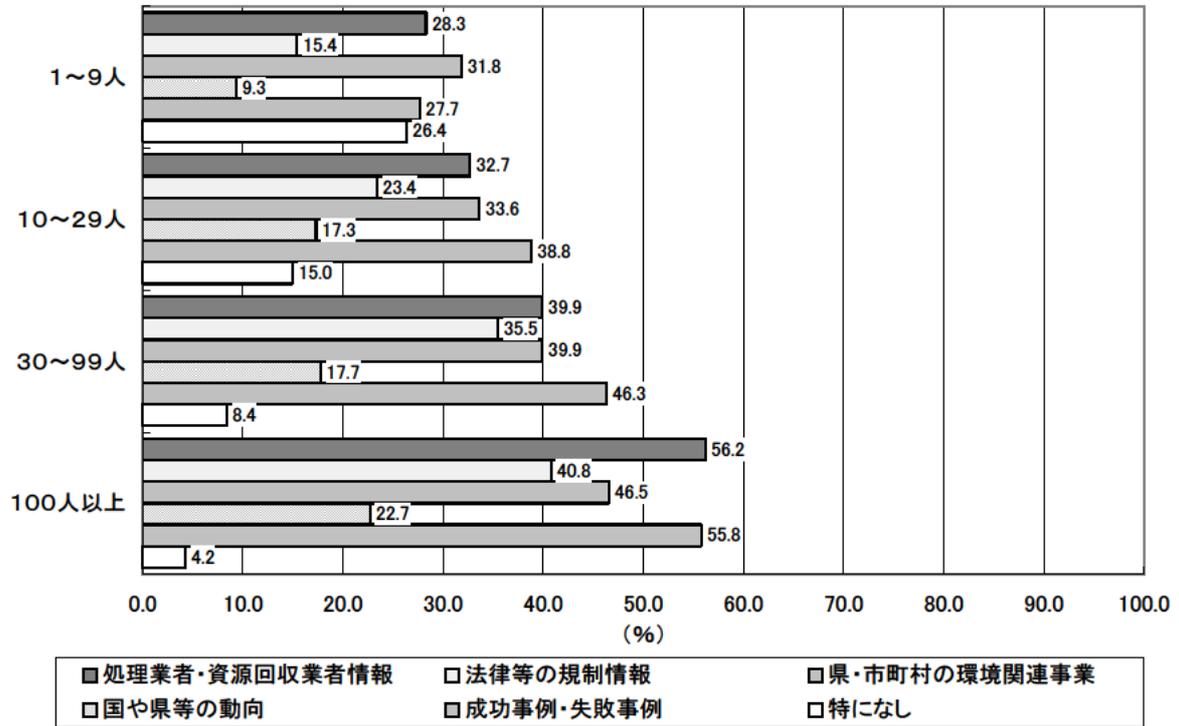
規模別に見ると、従業員数が多くなるほど、いずれの情報についても「欲しい」とする割合が増える。逆に、「特になし」は従業員数が少なくなるほどその割合が増える傾向にある。

図表 III-32 ごみ減量・リサイクルに必要な情報(複数回答)

選択肢	件数	割合(%)
1 処理業者・資源回収業者情報	386	37.2
2 法律等の規制情報	276	26.6
3 県・市町村の環境関連事業	374	36.0
4 国や県等の動向	162	15.6
5 成功事例・失敗事例	409	39.4
6 その他	12	1.2
7 特になし	142	13.7
無回答	117	11.3



図表 III-33 従業員数×ごみ減量・リサイクルに必要な情報(複数回答)



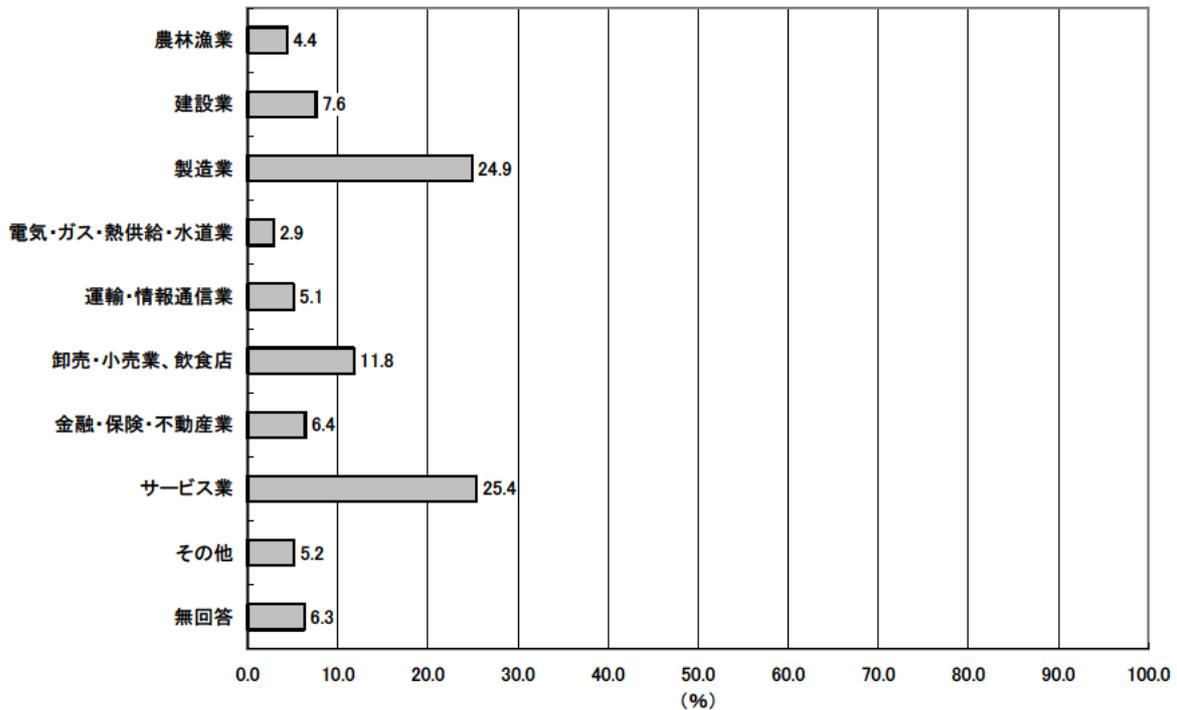
エ 事業所の属性について

問 19 あなたの事業所はどのような業種にあてはまりますか。(○は1つ)

サービス業、製造業が約 25%、卸売・小売業、飲食店が約 12%を占める他は、いずれの業種も 1 割未満である。

図表 III-34 業種

選択肢	件数	割合(%)
1 農林漁業	46	4.4
2 建設業	79	7.6
3 製造業	259	24.9
4 電気・ガス・熱供給・水道業	30	2.9
5 運輸・情報通信業	53	5.1
6 卸売・小売業、飲食店	123	11.8
7 金融・保険・不動産業	67	6.4
8 サービス業	264	25.4
9 その他	54	5.2
無回答	64	6.3
全体	1039	100.0

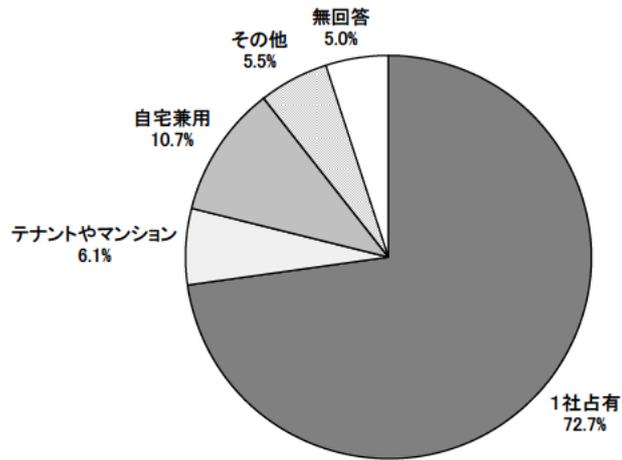


問 20 あなたの事業所はどのような建物形態ですか。(○は1つ)

「1社占有」が約 73%を占め、「自宅兼用」も約 11%見られる。

図表 III-35 建物形態

選択肢	件数	割合(%)
1 1社占有	755	72.7
2 テナントやマンション	63	6.1
3 自宅兼用	111	10.7
4 その他	57	5.5
無回答	53	5.0
全体	1039	100.0

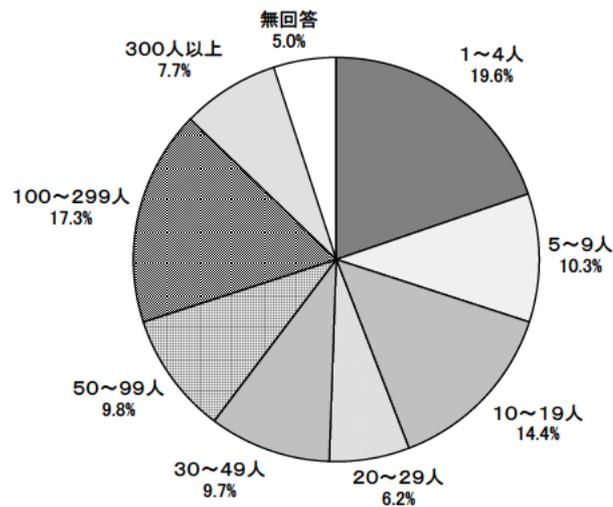


問 21 あなたの事業所の従業員は何名ですか。（〇は1つ）

「5 人未満」が約 20%を占め、「30 人未満」で約 51%と半数を超える一方、「100 人以上」も 25%と 1/4 を占めている。

図表 III-36 従業員数

選択肢	件数	割合(%)
1 1～4人	204	19.6
2 5～9人	107	10.3
3 10～19人	150	14.4
4 20～29人	64	6.2
5 30～49人	101	9.7
6 50～99人	102	9.8
7 100～299人	180	17.3
8 300人以上	80	7.7
無回答	51	5.0
全体	1039	100.0

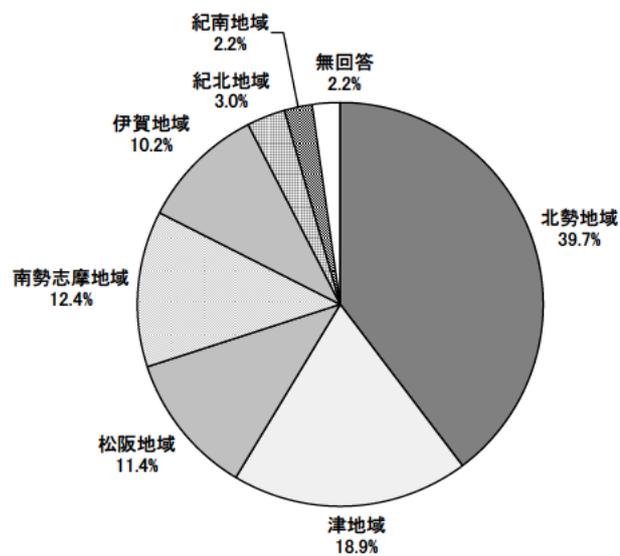


問 22 事業所の所在地はどちらですか。（〇は1つ）

「北勢地域」が約 40%と最も高く、以下、「津地域」が約 19%、「南勢志摩地域」が約 12%、「松阪地域」が約 11%、「伊賀地域」が約 10%となっている。

図表 III-37 所在地

選択肢	件数	割合(%)
1 北勢地域	412	39.7
2 津地域	196	18.9
3 松阪地域	118	11.4
4 南勢志摩地域	129	12.4
5 伊賀地域	106	10.2
6 紀北地域	31	3.0
7 紀南地域	23	2.2
無回答	24	2.2
全体	1039	100.0



(3) 自由記入

1 発生・排出抑制等

スーパー、コンビニ等かなりの量を廃棄していると聞きます。こうした大手流通業へのコスト負担、又、メーカー側への料金化をしなければ、川下側では限界がある。(四日市市/不動産業)

プラスチックの皿やスチロールの受け皿等、不必要な物が多く、かさ上げの見栄えのよいものが多過ぎ、商品より先に包装に手がかかりすぎるからゴミが多くなると思う。(伊勢市/食品製造業)

飲料系などのゴミが、めだってゴミ化して気になります。購入時に料金に加え、不用になったら、返金するシステムはどうでしょうか。業者も売れば、後は、ノータッチではどうか!! 当社もハンガー代を一時お預かりし、返却時に返金するシステムをとっております(ハンガーは洗浄後、リサイクルで使用しております)。個人の道徳心を、早くから家庭、学校等で指導することも必要でしょう。(伊勢市/サービス業)

小さな駄菓子屋でダンボールは子ども会へ出し自販機の缶等は業者が処理しておりごみとして出すものはありません。(津市/-)

商品包装の簡素化。商品配送の合理化。(津市/食品製造業)

少しでもゴミが減るより、入荷する商品の包装を簡素化するなど対処すべき点が多々あります。(津市/小売業)

事務書類に無駄が大変多くみられます。(広告、事務書類の案内文、封筒、FAX、広告等。)(尾鷲市/小売業)

書道教室をしています。墨液の空容器を減らすため中身の墨液を古い容器につめ替えたりする工夫や、添削済みの半紙の再利用等でゴミを少なくしています。ごみゼロ社会にするためには子供達の教育に力を入れてほしいと思います。これからの時代は子供たちの意識によって大きく変わるような気がします。(伊勢市/教育・学習支援)

あまり段ボールの中に無駄なつめものをしたり、新しい段ボールを使わないこと、お古で何度でも使用して送ったり、送られたりするとういと思っています。(四日市市/小売業)

できるだけ、リサイクルするためにゴミの分別が必要。分別したゴミの回収システムができていないように思う。(久居市/運輸業)

ISO14001 を将来的には取得してこの中で取り組んでいきたい。分別 リサイクルの認識と実施が更に急務では。(明和町/その他製造業)

会社で出る紙をシュレッダーにかけることなく、印刷面を白紙に戻して、再利用できるインクの開発ができたらいいと思います。(松阪市/サービス業)

事業系一般廃棄物を家庭用廃棄物と一緒に市の方で回収して頂きたい。(桑名市/食品製造業)

市町村も中小企業のゴミを有料でいいから回収してほしい。回収業者は業者によって料金がちがいきすぎる。現状ではどの業者がいいのか判断がつきにくい。(菰野町/その他製造業)

事業体としてごみゼロ社会に挑戦中です。一般廃棄物の削減に数年間取り組んでいるが、分別の徹底化によりリサイクル率が向上しゼロエミッション達成ができましたが更なる改善には壁にあたっている。(松阪市/電気・ガス・熱供給・水道業)

近年、得意先にてグリーン調達、環境問題が言われる様になり、対応に追われています。産廃、一般廃棄物の区別がむずかしく困っているのが正直なところです。何か良い方法があれば教えて下さい。(伊賀市/その他製造業)

処理業者の問題:重量、容量とまちまちである。どちらか一方に統一できないか。市は重量、業者は有利

な方を選択している。(鈴鹿市/その他製造業)

処理業者がちゃんと分別してリサイクルしてくれているのが心配。(久居市/-)

最終廃棄業者がいつになっても問題をおこしている現状を知る時、排出事業所までの関連で問題解決をしていかないと根本的解決にならない。環境・経済・健康(安全)がすべて善循環する技術とシステムをつくらないとごみゼロ社会は構築できない。新しい技術とシステムの開発に真剣に取り組んで欲しい。(津市/農林漁業)

努力はしているのですが、いいアイデアが浮かびません。成功例など教えていただければありがたいです。(津市/医療・福祉)

市町村の処理場での項目毎のリサイクル内容及びおおよそのリサイクル率をホームページで見れるようにしていただきたい。(津市/電気・ガス・熱供給・水道業)

リサイクル化を進めていくため、業者情報やリサイクル化の案などの情報があればご提供いただけると大変ありがたく思います。(菰野町/その他製造業)

ごみの処理にかかる費用、処分場の現状等をもう少し判り易く大きく取上げていく必要があるのではないかと。(伊勢市/その他製造業)

小さな事業所に対する処理方法等のアドバイス規定等ハッキリ情報が欲しいと思います！(嬉野町/サービス業)

これからも成功事例等情報をお願いします。(四日市市/金融・保険業)

2 意識・モラル等

同じ職場の人でも、過去の経験などから、一人一人における環境美化意識が異なるので、そのあたりの改善から進めないと、ごみゼロ社会なんて作れないと思います。(勢和村/公務)

最初のごみ箱が無くなったり、分別のごみ箱が設置され大変とまどいがありましたくなれてきますとゴミをゼロにする楽しみができ事務所でも家庭でも環境のために努力するようになってきました。(松阪市/サービス業)

事業所でも家庭でも男性がもっとゴミについて考え理解し協力しないとごみゼロ社会はむづかしいと思う。男性の中にはタバコのすいがらや空缶はゴミと認識していない人がいるようだ。(道路へのポイ捨てがその理由)『自分ひとりくらいは』という考えの人が多すぎる。！！(伊勢市/その他製造業)

廃棄物処理業者に依頼する程、廃棄物は多く出ないので心配していないが特定化学物質等の問題が気になる。社員のモラルの問題だが家庭では可燃物やプラスチック分別ができていたが会社に来ると、“誰かがやってくれるだろう”という気持ちが働いてきっちりやれていないのが実状です。ごみゼロ社会はなかなか難しい。(桑名市/その他製造業)

入院患者様へのお見舞いに見える方の飲食物のゴミの持ち込みや退院患者様の退院時における一般ゴミ等の処理が多くなるもので行政当局よりの今後の指導等についてもよろしく願いたい。(松阪市/医療・福祉)

一般市民に対する意識づけがさらに大切。(病院での事業系ゴミは減量しつつあるものの、患者や見舞客など外部の人たちが排出するゴミが多い。(亀山市/医療・福祉)

ごみゼロ社会をつくることには賛成であるが、具体的に行政としてどのように取り組みをしているのか判らない。基本的には排出元が処理するとは思いますが分別した廃棄物の再生事業者の紹介等を考えてほしい。(四日市市/その他製造業)

購入する段階で長く使用できるものを選ぶ。茶等は水筒持参するようにする。(久居市/その他)

各事業所において社員等のゴミ意識の強化減量及社内は云うに及ばず地域の美化に関心を持つ様育成教育が必要と思う。(三雲町/その他)

行政だけに任せず各事業所あるいは各個人が増え続けるゴミを身近な問題として考え、これからの社会生活の中で環境破壊が重大な影響をもたらすことを意識しながらゴミの減量化に取り組みたい。(津市/宿泊業)

本社で ISO14001 を取得しており、本件テーマについては、よく認識している。社員にも周知を図っている。(川越町/サービス業)

閉店後に無断で分別なしの生ゴミ、缶その他のゴミの投棄で大変困っています。(四日市市/小売業)

当テナントのゴミ集積所には飲食店も入っており、そこから出る生ゴミに悩まされています。いつも私の会社の社員が後片付けをしています。生ゴミをよく出す事業所、店舗に対する指導をしてほしい。(松阪市/サービス業)

事業所、駐車場内に家庭ゴミ、又は処理代有のゴミを捨てていく市民がいて、非常に困っている。どうすればいいものか？すべての費用は事業所持ち、自社で努力しても全体が努力してくれないとごみゼロはならない。(捨てられた物、タイヤ自転車、バッテリー、乾電池、包丁等)(桑名市/小売業)

他人が我家へむちゃむちゃに捨ててくので私が缶は缶ベツはラベルとふたをわけて中は水できれいに洗って出しています。(四日市市/小売業)

美しい清楚な仕事場は楽しい職場環境になる。(四日市市/建設業)

当社も、エコステージ(環境経営評価システム)の認証取得に取り組みはじめております。このシステムを活用して、事業活動にも結びつけていきたいと意気込んでいます。ごみを減らしていくことも、利益をいかに上げるかについても、アイデアをいかに出していくかによると考えます。(東員町/その他製造業)

ごみゼロ社会をつくるには、まず、官公庁等が率先して取り組むべきと思います。また、ごみゼロに取り組んでいる企業には、何らかの税制面での優遇措置があってもよいのでは、と思います。(津市/金融・保険業)

2. 事業系ごみ組成調査

(1) 調査の概要

ア 調査の目的

「ごみゼロ社会実現プラン」の策定に当たって、将来あるべき「ごみゼロ社会」の姿や実現に向けた具体的な施策を検討する際の基礎資料とするため、事業所から排出されるごみの組成等について調査した。

イ 調査対象

業種等を考慮して県内に所在する 2,550 件の事業所を無作為抽出し調査対象とした。

ウ 調査方法

郵送によりアンケート調査票を発送、回収し、得られた数値を集計、解析することで行った。

本調査結果は、事業所アンケート原票の問 11～問 13 を集計、分析することによって得たものである。

エ 調査期間

平成 16 年 11 月 12 日に調査票を発送し、11 月 30 日を投函期限として回収した。

投函期限直後に督促を行い、12 月 27 日到着分までを有効回答に含めた。

オ 回収状況

回収状況は次のとおりである。

有効発送数： 2,444 件（発送数：2,550 件 - 宛先不明等による返却数：106 件）

有効回収数： 1,039 件

有効回収率： 42.5%

業種ごとに見た調査票の回収状況は次のとおりである。

業種	発送数	回収数	単純回収率
農林漁業	80	46	57.5%
建設業	200	79	39.5%
製造業	600	259	43.2%
電気・ガス・熱供給・水道業	80	30	37.5%
運輸・情報通信業	150	53	35.3%
卸売・小売業、飲食店	600	123	20.5%
金融・保険・不動産業	160	67	41.9%
サービス業	600	264	44.0%
その他	80	54	-
無回答	-	64	-
合計	2,550	1,039	40.7%

「単純回収率」は、業種別に見た発送数に対する回収数の割合

「サービス業」は、宿泊業、医療、福祉、教育、学習支援業を含む。

「その他」は、公務を含む。「発送数」は、公務のみ

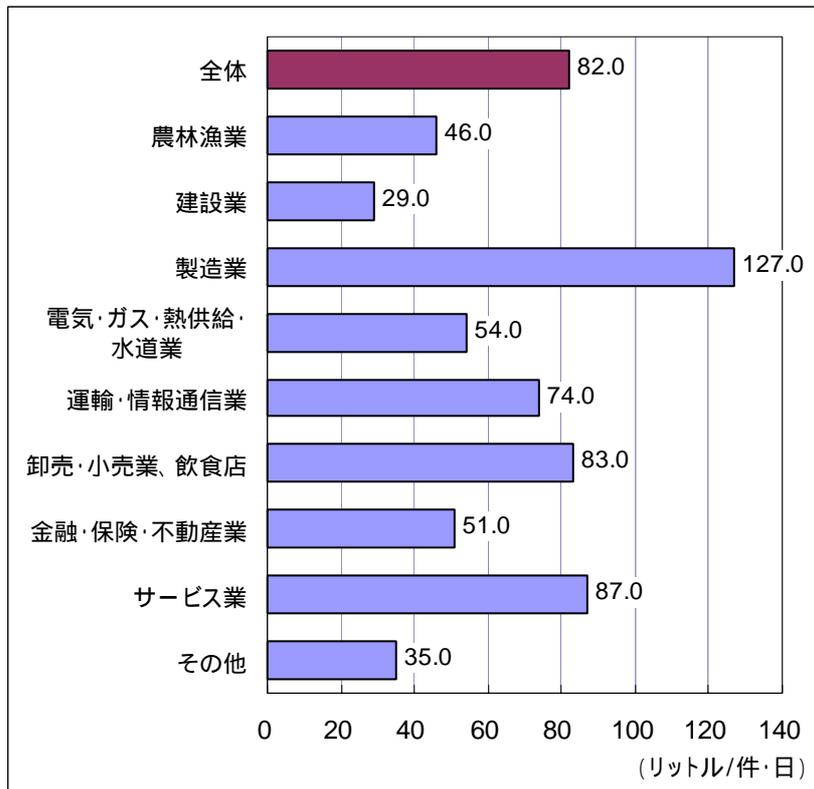
(2) 調査結果

ア ごみとしての排出量

(ア) 業種別ごみ排出量

図表 III-38 業種別 1 社 1 日当たりごみ排出量(容積)

	全体	農林漁業	建設業	製造業	電気・ガス・ 熱供給・ 水道業	運輸・情報 通信業	卸売・小売 業、飲食店	金融・保険・ 不動産業	サービス 業	その他
厨芥類等	15.0	5.0	4.0	15.0	4.0	14.0	29.0	5.0	20.0	7.0
紙類	45.0	34.0	14.0	70.0	41.0	40.0	33.0	42.0	43.0	22.0
繊維類	2.0	1.0	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0
プラスチック類	12.0	4.0	7.0	20.0	8.0	13.0	12.0	3.0	12.0	5.0
金属類	2.0	1.0	1.0	2.0	1.0	3.0	4.0	1.0	4.0	1.0
びん類	1.0	1.0	0.0	1.0	0.0	1.0	2.0	0.0	2.0	0.0
その他	5.0	0.0	3.0	13.0	0.0	3.0	3.0	0.0	5.0	0.0
合計	82.0	46.0	29.0	127.0	54.0	74.0	83.0	51.0	87.0	35.0

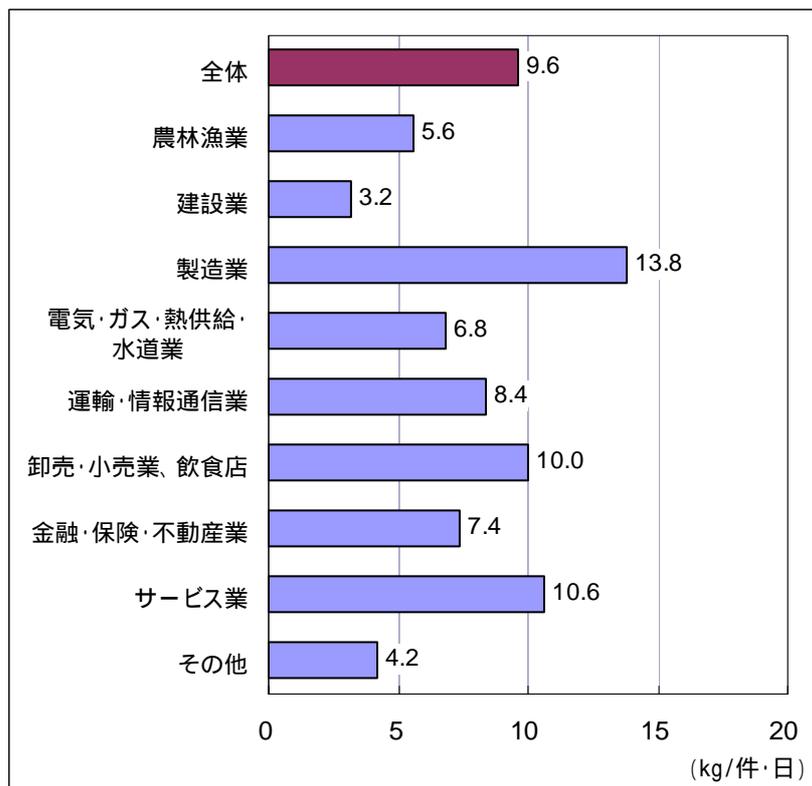


「サービス業」は宿泊業、医療、福祉、教育、学習支援業を含む。「その他」は公務を含む。以下同様

図表 III-39 業種別 1 社 1 日当たりごみ排出量(重量)

(kg/件・日)

	全体	農林漁業	建設業	製造業	電気・ガス・ 熱供給・ 水道業	運輸・情報 通信業	卸売・小売 業、飲食店	金融・保険・ 不動産業	サービス 業	その他
厨芥類等	2.1	0.7	0.5	2.0	0.7	1.9	4.3	0.7	2.9	0.9
紙類	5.3	4.1	1.7	7.6	5.4	4.9	3.7	6.3	5.2	2.8
繊維類	0.3	0.2	0.1	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0
プラスチック類	0.8	0.3	0.4	1.4	0.5	0.8	0.7	0.2	0.8	0.3
金属類	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1	0.3	0.4	0.1	0.4	0.1
びん類	0.4	0.2	0.1	0.4	0.1	0.2	0.6	0.1	0.6	0.1
その他	0.5	0.0	0.3	1.3	0.0	0.3	0.3	0.0	0.5	0.0
合計	9.6	5.6	3.2	13.8	6.8	8.4	10.0	7.4	10.6	4.2

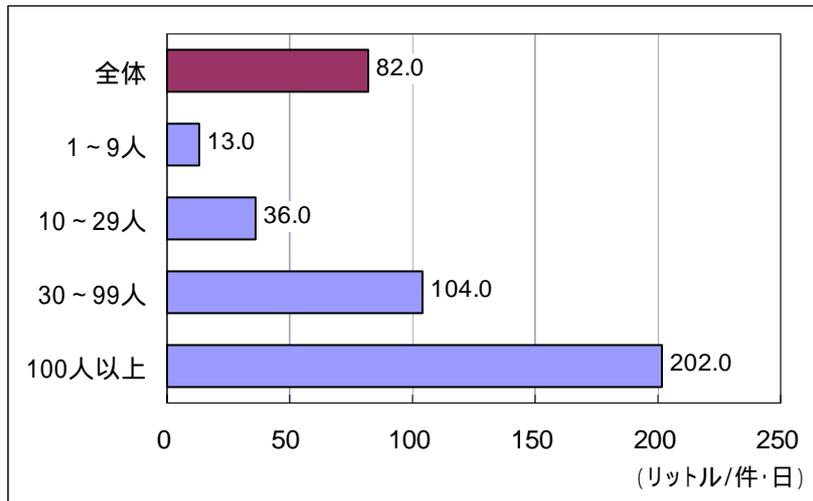


(イ) 従業員規模別ごみ排出量

図表 III-40 従業員規模別 1 社 1 日当たりごみ排出量(容積)

(リットル/件・日)

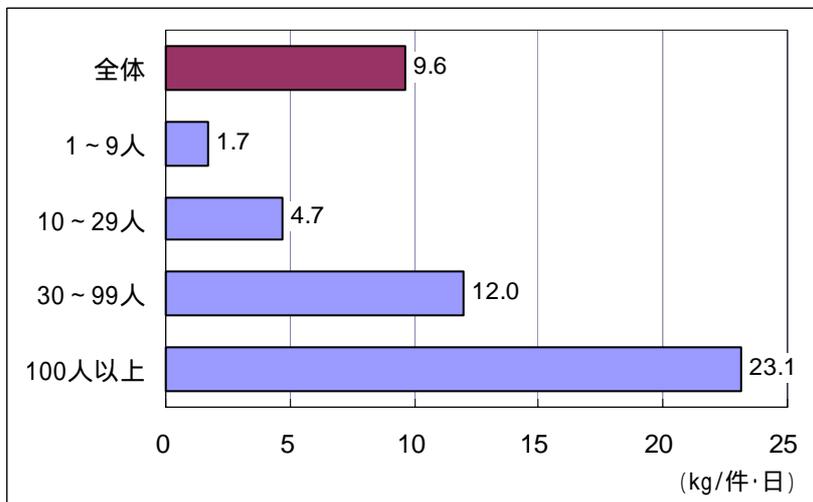
	全体	1～9人	10～29人	30～99人	100人以上
厨芥類等	15.0	4.0	8.0	22.0	30.0
紙類	45.0	6.0	18.0	47.0	119.0
繊維類	2.0	0.0	0.0	2.0	6.0
プラスチック類	12.0	1.0	5.0	17.0	30.0
金属類	2.0	1.0	2.0	4.0	4.0
びん類	1.0	0.0	1.0	2.0	2.0
その他	5.0	1.0	2.0	10.0	11.0
合計	82.0	13.0	36.0	104.0	202.0



図表 III-41 従業員規模別 1 社 1 日当たりごみ排出量(重量)

(kg/件・日)

	全体	1~9人	10~29人	30~99人	100人以上
厨芥類等	2.1	0.5	1.2	3.2	4.3
紙類	5.3	0.8	2.5	5.5	13.7
繊維類	0.3	0.0	0.0	0.3	0.9
プラスチック類	0.8	0.1	0.3	1.1	2.0
金属類	0.2	0.1	0.2	0.4	0.4
びん類	0.4	0.1	0.3	0.5	0.7
その他	0.5	0.1	0.2	1.0	1.1
合計	9.6	1.7	4.7	12.0	23.1

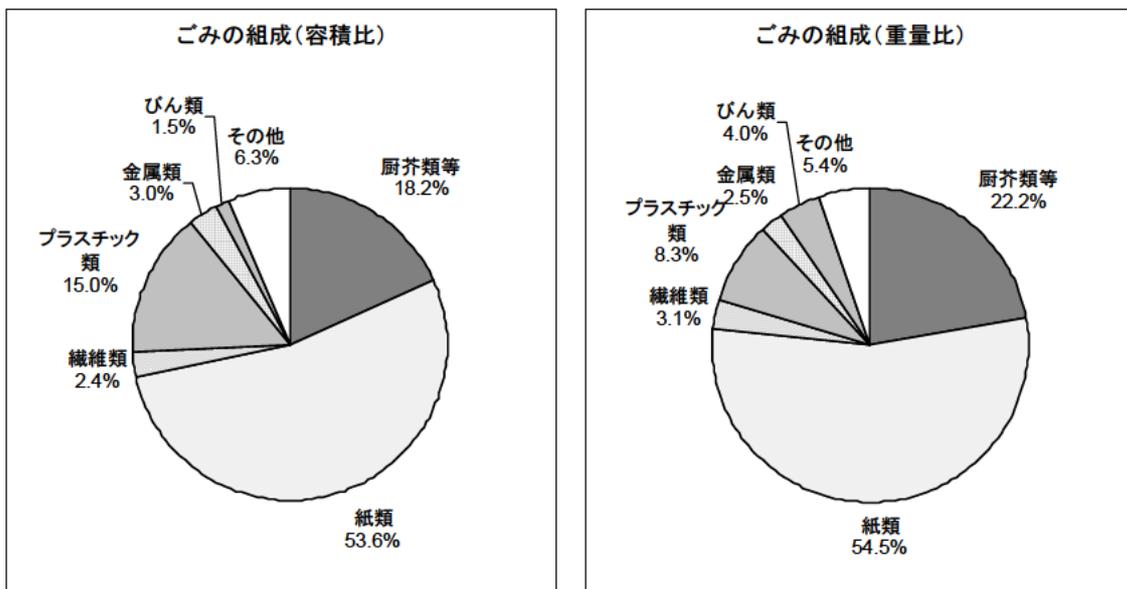


イ ごみの組成

図表 III-42 ごみの組成(全体平均)

(%)

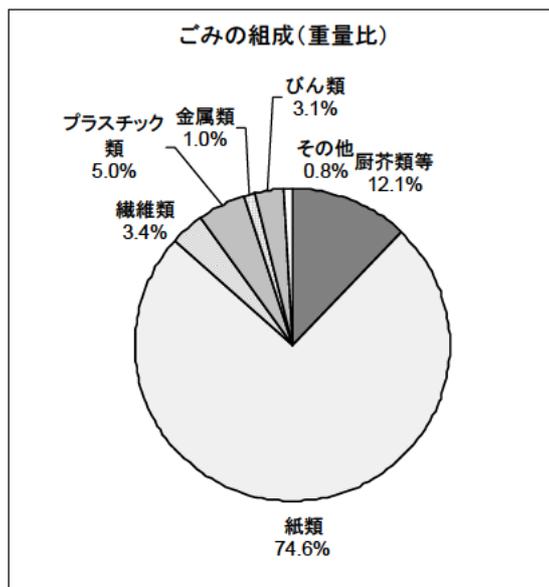
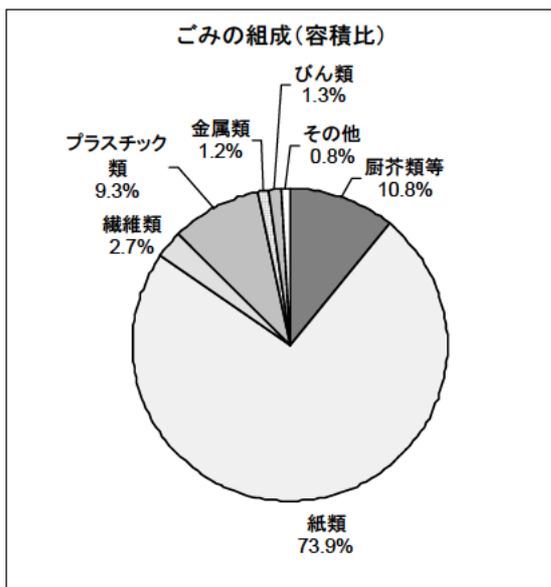
全体		
	容積比	重量比
厨芥類等	18.2	22.2
紙類	53.6	54.5
繊維類	2.4	3.1
プラスチック類	15.0	8.3
金属類	3.0	2.5
びん類	1.5	4.0
その他	6.3	5.4
合計	100.0	100.0



図表 III-43 ごみの組成(農林漁業)

(%)

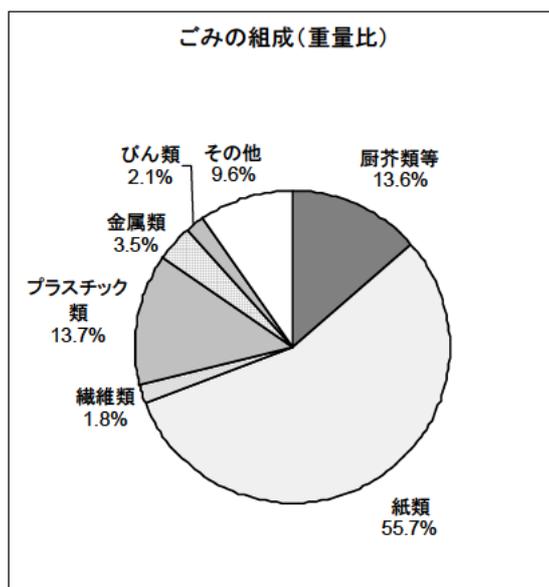
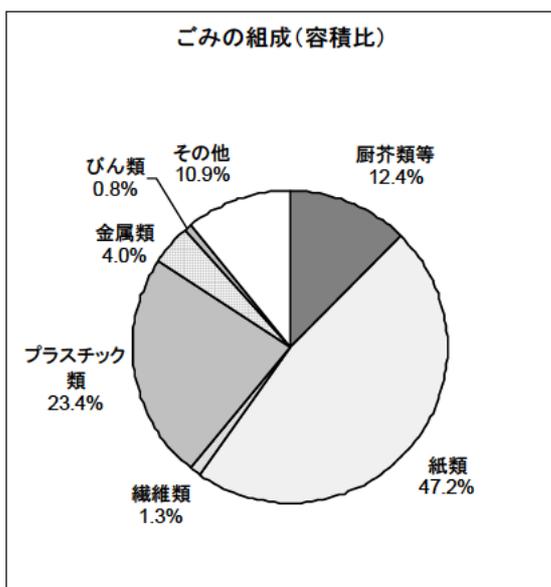
農林漁業		
	容積比	重量比
厨芥類等	10.8	12.1
紙類	73.9	74.6
繊維類	2.7	3.4
プラスチック類	9.3	5.0
金属類	1.2	1.0
びん類	1.3	3.1
その他	0.8	0.8
合計	100.0	100.0



図表 III-44 ごみの組成(建設業)

(%)

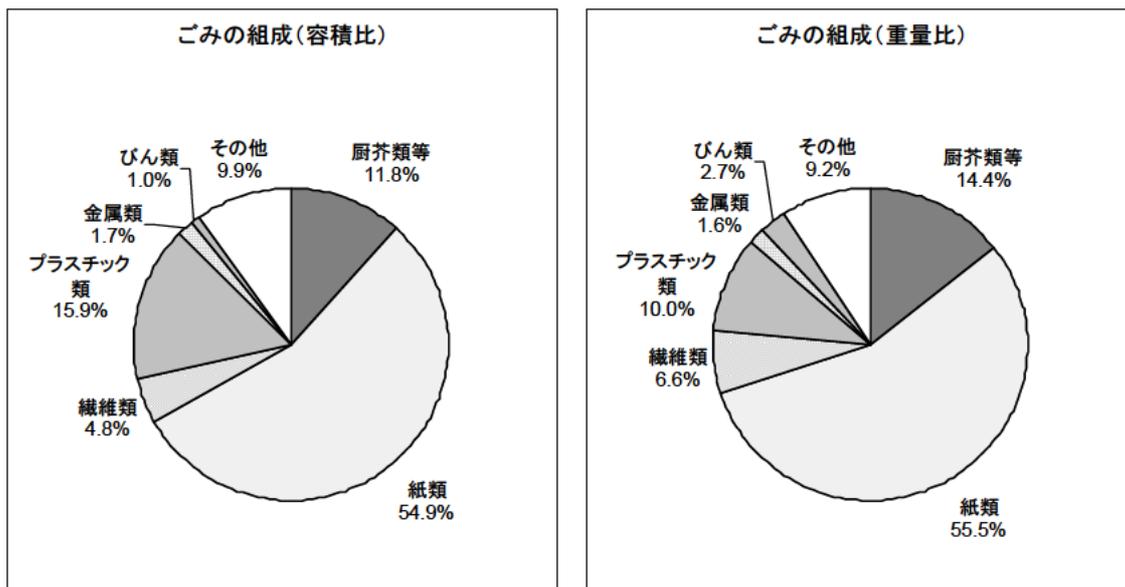
建設業		
	容積比	重量比
厨芥類等	12.4	13.6
紙類	47.2	55.7
繊維類	1.3	1.8
プラスチック類	23.4	13.7
金属類	4.0	3.5
びん類	0.8	2.1
その他	10.9	9.6
合計	100.0	100.0



図表 III-45 ごみの組成(製造業)

(%)

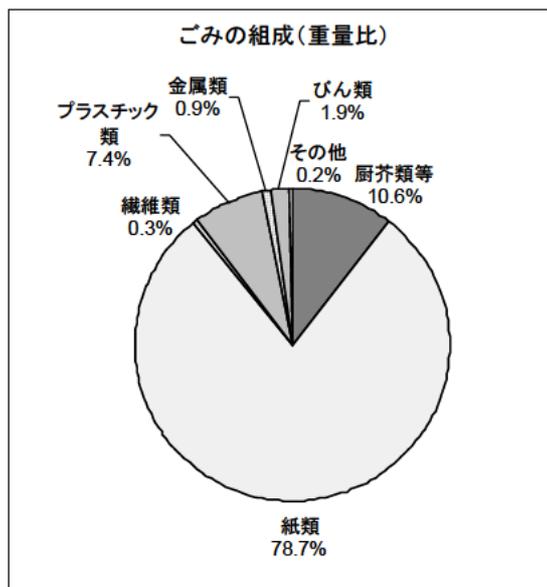
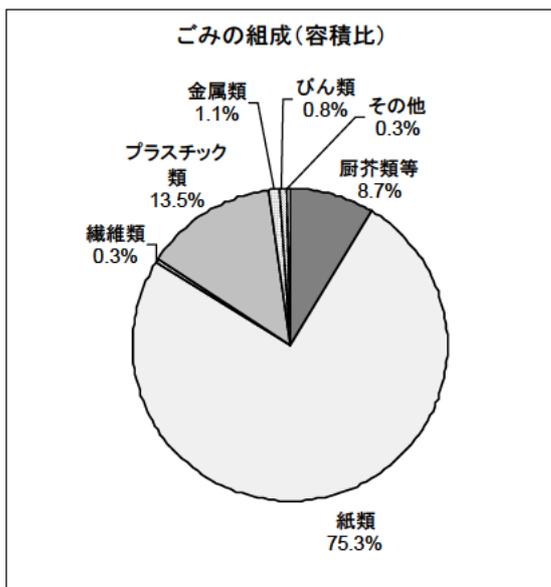
製造業		
	容積比	重量比
厨芥類等	11.8	14.4
紙類	54.9	55.5
繊維類	4.8	6.6
プラスチック類	15.9	10.0
金属類	1.7	1.6
びん類	1.0	2.7
その他	9.9	9.2
合計	100.0	100.0



図表 III-46 ごみの組成(電気・ガス・熱供給・水道業)

(%)

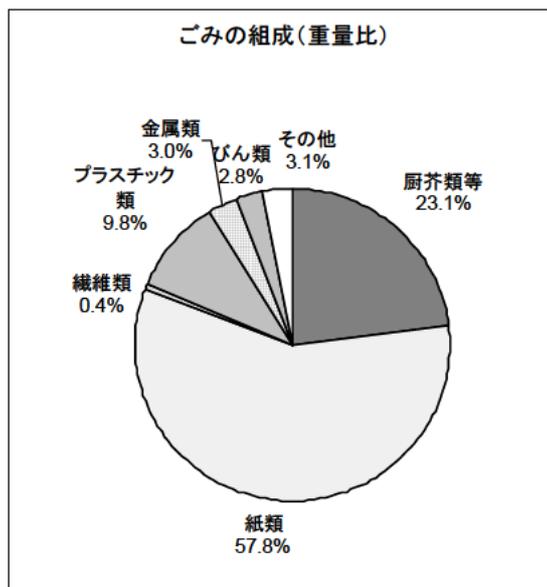
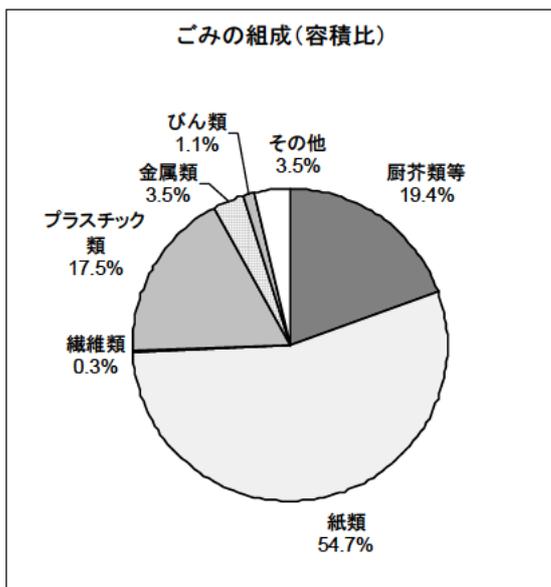
電気・ガス・熱供給・水道業		
	容積比	重量比
厨芥類等	8.7	10.6
紙類	75.3	78.7
繊維類	0.3	0.3
プラスチック類	13.5	7.4
金属類	1.1	0.9
びん類	0.8	1.9
その他	0.3	0.2
合計	100.0	100.0



図表 III-47 ごみの組成(運輸・情報通信業)

(%)

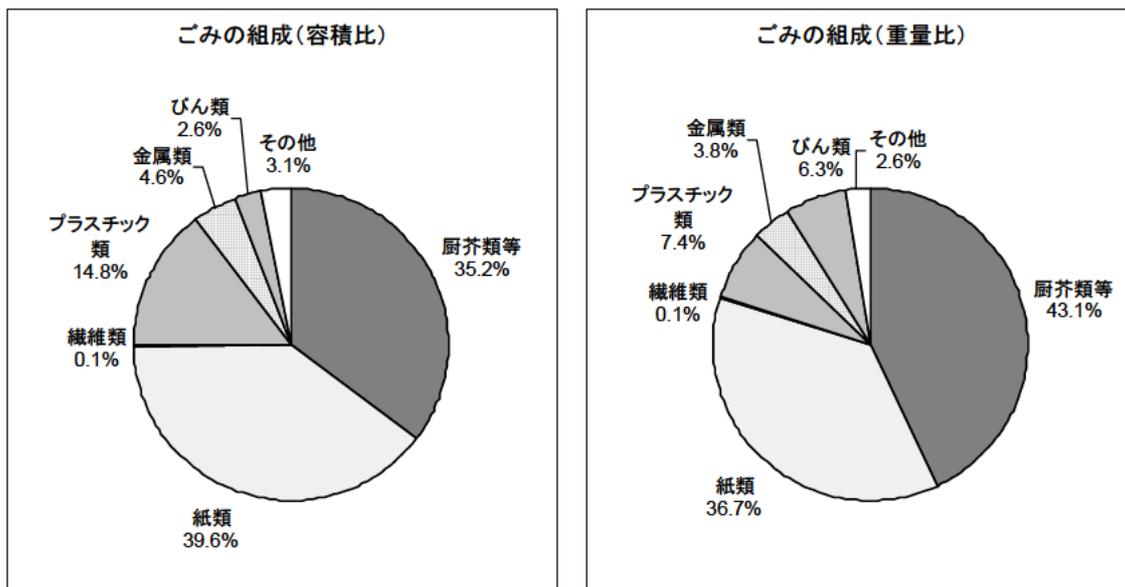
運輸・情報通信業		
	容積比	重量比
厨芥類等	19.4	23.1
紙類	54.7	57.8
繊維類	0.3	0.4
プラスチック類	17.5	9.8
金属類	3.5	3.0
びん類	1.1	2.8
その他	3.5	3.1
合計	100.0	100.0



図表 III-48 ごみの組成(卸売・小売業、飲食店)

(%)

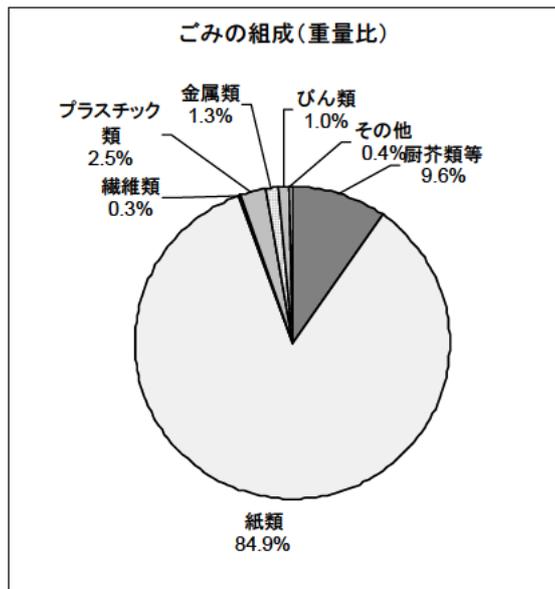
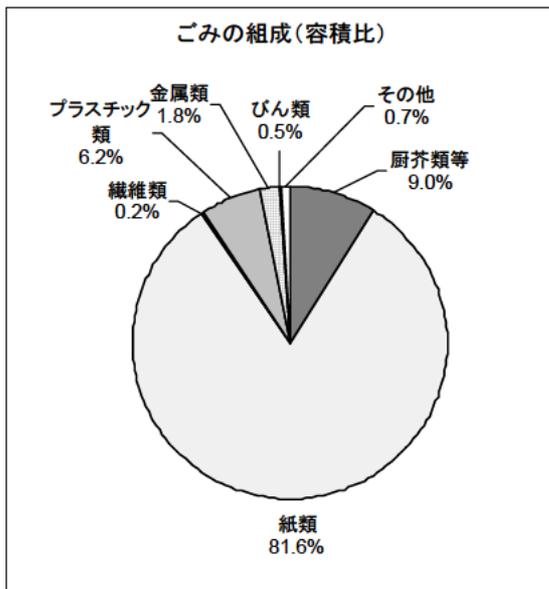
卸売・小売業、飲食店		
	容積比	重量比
厨芥類等	35.2	43.1
紙類	39.6	36.7
繊維類	0.1	0.1
プラスチック類	14.8	7.4
金属類	4.6	3.8
びん類	2.6	6.3
その他	3.1	2.6
合計	100.0	100.0



図表 III-49 ごみの組成(金融・保険・不動産業)

(%)

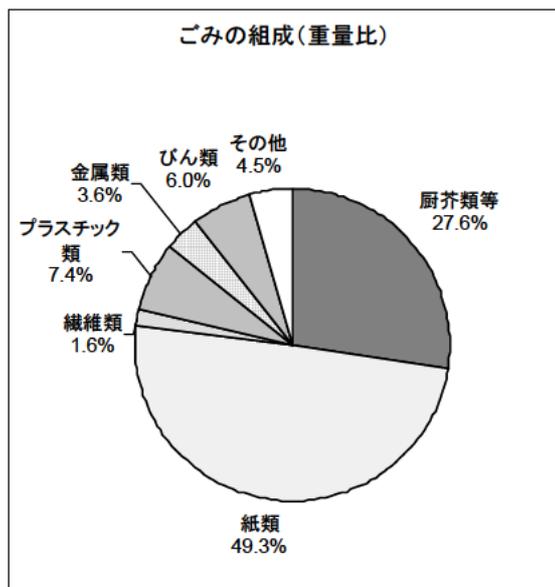
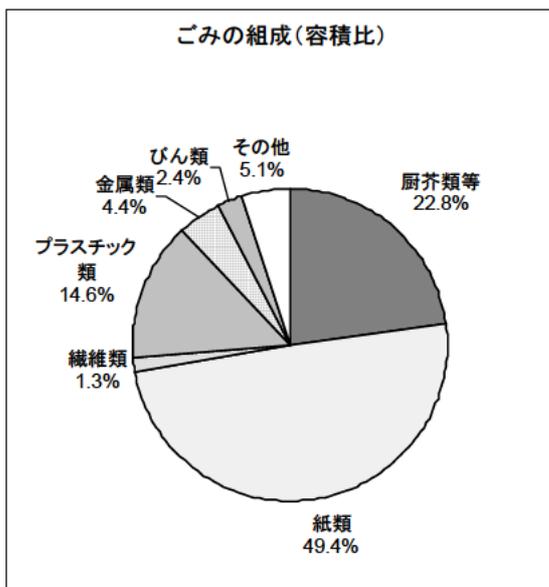
金融・保険・不動産業		
	容積比	重量比
厨芥類等	9.0	9.6
紙類	81.6	84.9
繊維類	0.2	0.3
プラスチック類	6.2	2.5
金属類	1.8	1.3
びん類	0.5	1.0
その他	0.7	0.4
合計	100.0	100.0



図表 III-50 ごみの組成(サービス業)

(%)

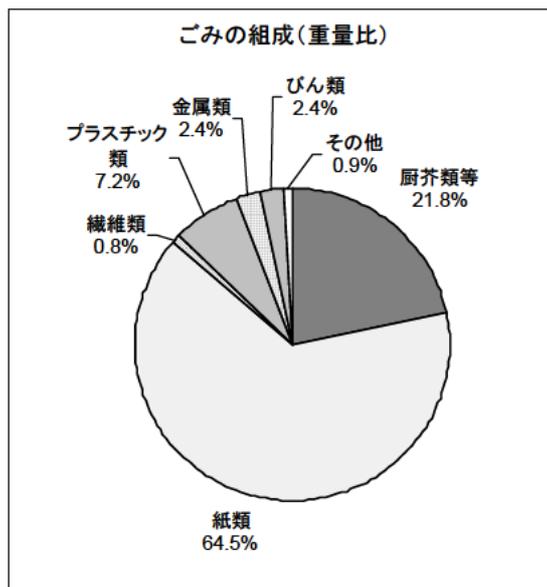
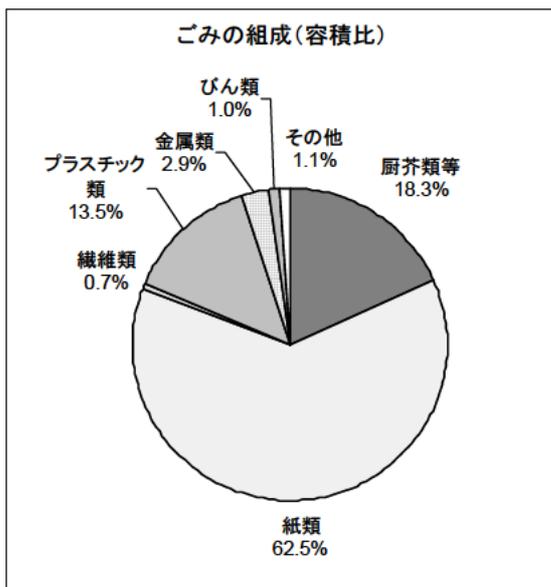
サービス業		
	容積比	重量比
厨芥類等	22.8	27.6
紙類	49.4	49.3
繊維類	1.3	1.6
プラスチック類	14.6	7.4
金属類	4.4	3.6
びん類	2.4	6.0
その他	5.1	4.5
合計	100.0	100.0



図表 III-51 ごみの組成(その他)

(%)

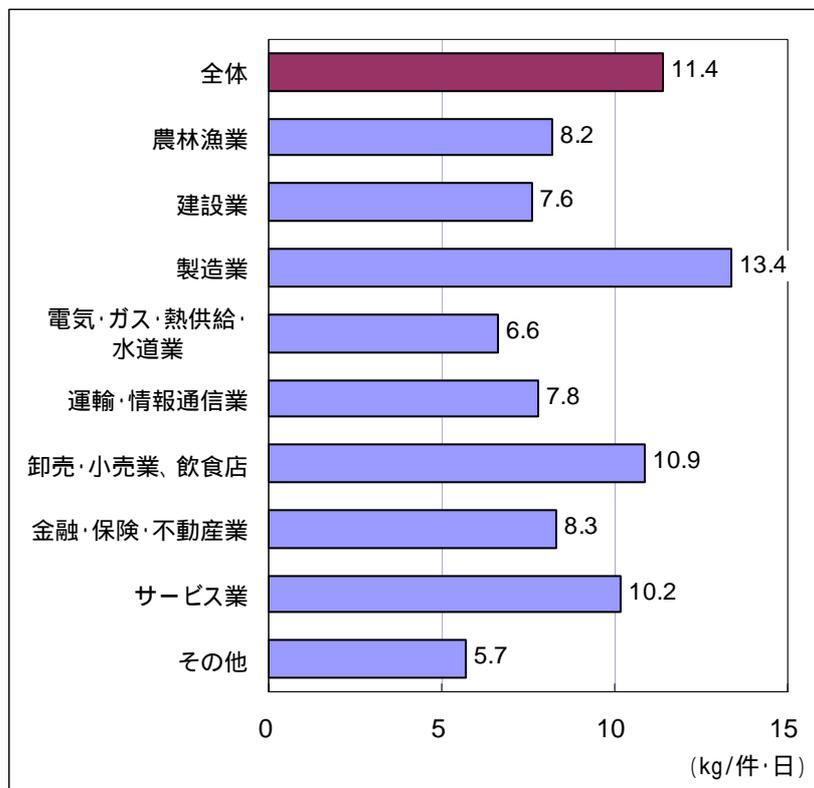
その他		
	容積比	重量比
厨芥類等	18.3	21.8
紙類	62.5	64.5
繊維類	0.7	0.8
プラスチック類	13.5	7.2
金属類	2.9	2.4
びん類	1.0	2.4
その他	1.1	0.9
合計	100.0	100.0



ウ 資源としての排出量

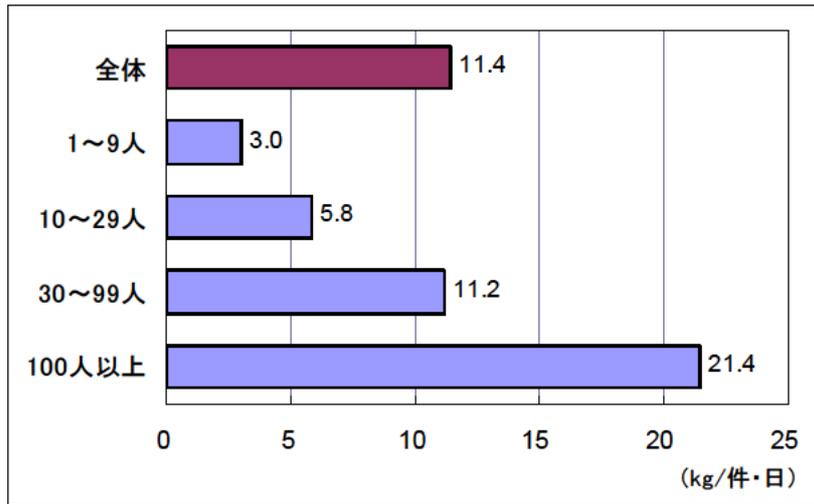
図表 III-52 業種別資源排出量(重量)

	全体	農林漁業	建設業	製造業	電気・ガス・ 熱供給・ 水道業	運輸・情報 通信業	卸売・小売 業、飲食店	金融・保険・ 不動産業	サービス 業	その他
厨芥類等	2.0	4.0	1.0	1.2	0.8	0.6	3.3	0.3	2.7	0.5
紙類	6.5	2.9	3.7	9.0	4.4	3.9	5.6	7.4	4.7	2.9
繊維類	0.3	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2	0.1
プラスチック類	1.2	0.9	2.1	1.4	0.4	0.5	0.7	0.3	0.8	0.9
金属類	0.9	0.2	0.5	1.0	0.6	1.3	0.7	0.2	1.0	1.0
びん類	0.5	0.2	0.3	0.3	0.4	1.5	0.5	0.1	0.8	0.3
合計	11.4	8.2	7.6	13.4	6.6	7.8	10.9	8.3	10.2	5.7



図表 III-53 従業員規模別資源排出量(重量)

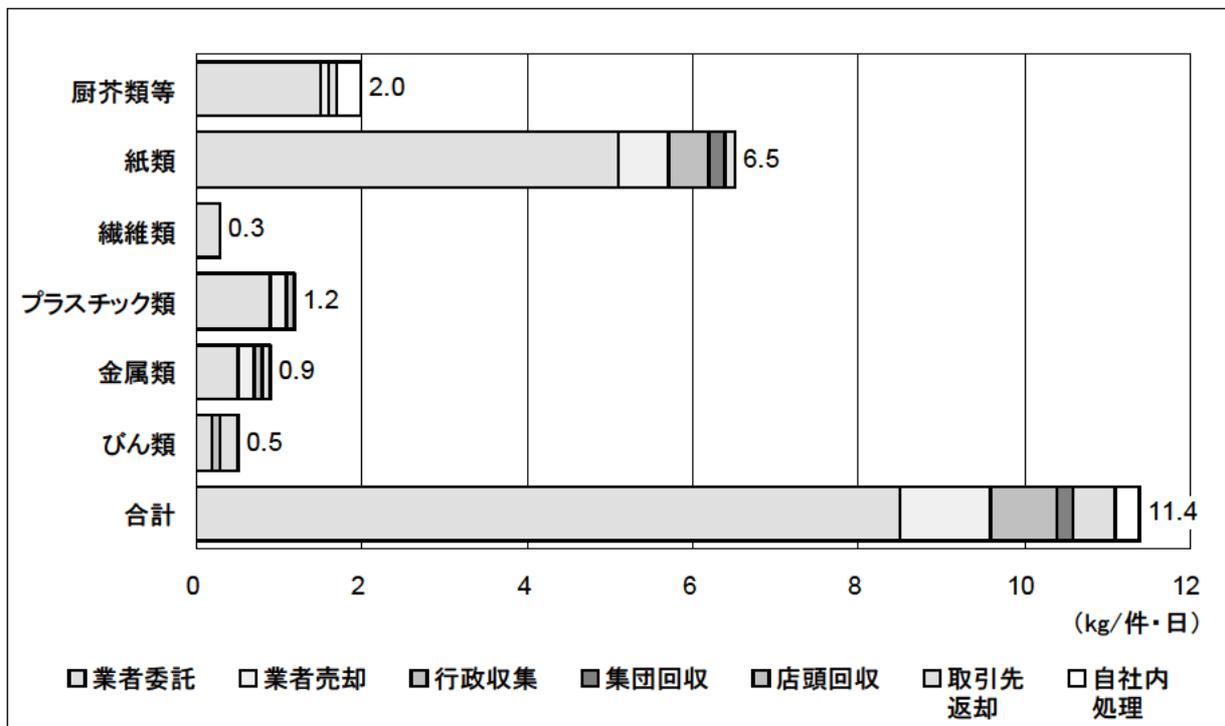
	全体	1~9人	10~29人	30~99人	100人以上
厨芥類等	2.0	0.8	0.9	1.9	3.6
紙類	6.5	1.0	3.4	5.8	13.4
繊維類	0.3	0.1	0.0	0.2	0.5
プラスチック類	1.2	0.6	0.5	1.0	1.9
金属類	0.9	0.3	0.5	1.6	1.2
びん類	0.5	0.2	0.5	0.7	0.8
合計	11.4	3.0	5.8	11.2	21.4



図表 III-54 処理方法別資源排出量(重量)

(kg/件・日)

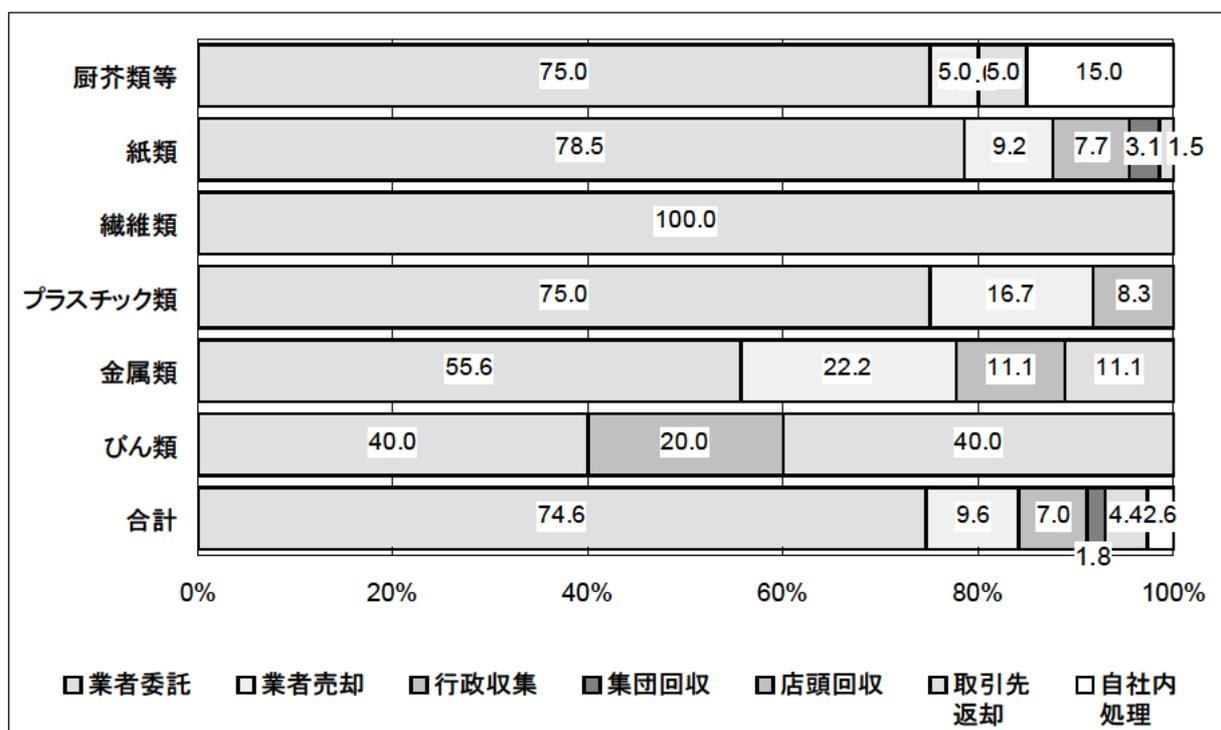
	合計	業者委託	業者売却	行政収集	集団回収	店頭回収	取引先返却	自社内処理
厨芥類等	2.0	1.5	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3
紙類	6.5	5.1	0.6	0.5	0.2	0.0	0.1	0.0
繊維類	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
プラスチック類	1.2	0.9	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
金属類	0.9	0.5	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0
びん類	0.5	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.2	0.0
合計	11.4	8.5	1.1	0.8	0.2	0.0	0.5	0.3



図表 III-55 品目別処理方法割合

(%)

	合計	業者委託	業者売却	行政収集	集団回収	店頭回収	取引先返却	自社内処理
厨芥類等	100.0	75.0	5.0	0.0	0.0	0.0	5.0	15.0
紙類	100.0	78.5	9.2	7.7	3.1	0.0	1.5	0.0
繊維類	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
プラスチック類	100.0	75.0	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0
金属類	100.0	55.6	22.2	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0
びん類	100.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0
合計	100.0	74.6	9.6	7.0	1.8	0.0	4.4	2.6



エ 全県拡大推計

(ア) 拡大推計方法

上記で推計した業種別 1 件(1 社) 1 日当たり排出量に県全体の業種別事業所数(平成 13 年事業所・企業統計調査)を乗じ、全県で 1 日当たりに排出されるごみ量を推計した。

(イ) 県全体のごみ量

図表 III-56 県全体のごみ排出量(容積)

(キロリットル/日)

	全体	農林漁業	建設業	製造業	電気・ガス・ 熱供給・ 水道業	運輸・情報 通信業	卸売・小売 業、飲食店	金融・保険・ 不動産業	サービス 業	その他
事業所数	78,099	263	8,672	4,514	183	2,427	33,288	4,008	23,654	1,090
厨芥類等	1,605	1	35	68	1	34	965	20	473	8
紙類	2,859	9	121	316	8	97	1,099	168	1,017	24
繊維類	51	0	0	27	0	0	0	0	24	0
プラスチック類	885	1	61	90	1	32	399	12	284	5
金属類	258	0	9	9	0	7	133	4	95	1
びん類	121	0	0	5	0	2	67	0	47	0
その他	310	0	26	59	0	7	100	0	118	0
合計	6,089	11	252	574	10	179	2,763	204	2,058	38
排出比率(%)	100.0	0.2	4.1	9.4	0.2	2.9	45.4	3.4	33.8	0.6

図表 III-57 県全体のごみ排出量(重量)

(t/日)

	全体	農林漁業	建設業	製造業	電気・ガス・ 熱供給・ 水道業	運輸・情報 通信業	卸売・小売 業、飲食店	金融・保険・ 不動産業	サービス 業	その他
事業所数	78,099	263	8,672	4,514	183	2,427	33,288	4,008	23,654	1,090
厨芥類等	234	0	4	9	0	5	143	3	69	1
紙類	337	1	15	34	1	12	123	25	123	3
繊維類	10	0	1	4	0	0	0	0	5	0
プラスチック類	54	0	3	6	0	2	23	1	19	0
金属類	25	0	1	1	0	1	13	0	9	0
びん類	37	0	1	2	0	0	20	0	14	0
その他	32	0	3	6	0	1	10	0	12	0
合計	729	1	28	62	1	21	332	29	251	4
排出比率(%)	100.0	0.1	3.8	8.5	0.1	2.9	45.5	4.0	34.4	0.7

3. アンケート調査原票

「ごみゼロ社会」をめざす事業所アンケート調査
～事業系一般廃棄物の減量とリサイクルの推進に向けて～

○はじめに

「環境の世紀」といわれる21世紀になり3年半が経過しました。この間、事業活動のさまざまな場面で「環境」や「エコ」が取り上げられるようになってきました。なかでも、増え続けるごみとその処理は、地球温暖化や資源の枯渇など、私たちの生活様式や事業活動のあり方に大きな問題を投げかけています。

三重県では現在、ごみを出さない暮らし方や事業活動によってごみを減らし、出されたごみは資源としてできるだけ利用する「ごみゼロ社会」を目指し、県民参画のもと「ごみゼロ社会実現プラン」を策定しています。

この調査は、将来あるべき「ごみゼロ社会」の姿や、実現に向けた具体的な施策を検討する際の基礎資料とするため、県内事業者のみなさんに普段の取り組みや考えをお聴きするものです。

○調査対象事業所

このアンケート調査は業種等を考慮して無作為に選んだ2,550件の事業所にお送りしています。

○調査対象廃棄物

このアンケート調査では事業所から排出される廃棄物についていくつか設問しています。対象はあくまで「事業系一般廃棄物」であり、「産業廃棄物」は対象外となります。ご注意ください。

○回答方法

回答はこの調査票に直接記入してください。

当てはまる番号を1つ選ぶもの、複数選ぶもの、文章で記入するものなどいろいろな問いがあります。設問をよく読んでお答えください。

○回答の返送方法

同封の返信用封筒を使い、切手を貼らずまた名前を書かずに、平成16年11月30日(火)までに投函ください。

○プライバシー

返送いただいた調査票はコンピュータを使って集計し、その結果を基礎資料として活用することになります。したがって、記入いただいた調査票をそのまま活用したり公表することは一切ありません。また、集計の段階で個々の事業所を特定することはありません。

なお、返信用封筒の郵便番号下に印刷してある番号、あるいは返送先下に印刷してあるバーコードはすべて、郵便局が返送先を判断する時に用いるもので、個人を特定するものではありません。

○問合せ先

[調査内容について]

株式会社循環社会研究所 担当：勝畑（かつはた）、小山 電話 03-5363-0183



[三重県担当部署]

三重県環境森林部ごみゼロ推進室 電話 059-224-3126

◎ 事業系ごみ(事業系一般廃棄物)の減量やリサイクルの取り組みについてお聞きします。

問1 あなたの事業所ではごみの減量化に取り組んでいますか。(〇は1つ)

- 1 かなり取り組んでいる (⇒問 2、問 3へ)
- 2 ある程度取り組んでいる (⇒問 2、問 3へ)
- 3 あまり取り組んでいない (⇒問 4へ)
- 4 全く取り組んでいない (⇒問 4へ)

問2 (問 1で「1 かなり取り組んでいる」「2 ある程度取り組んでいる」と答えた方のみ) ごみ減量化に取り組む理由は何ですか。(〇は3つまで)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 経費削減のため | 2 社の宣伝やイメージアップのため |
| 3 企業としての社会的責任を果たすため | 4 法律の規制があるため |
| 5 業界全体で取り組んでいるため | 6 競合他社が取り組んでいるため |
| 7 ごみの保管場所に困っているため | |
| 8 その他(具体的に_____) | |

問3 (問 1で「1 かなり取り組んでいる」「2 ある程度取り組んでいる」と答えた方のみ) あなたの事業所ではどのようなごみ減量に取り組んでいますか。(当てはまるすべてに〇)

- 1 ISO14001の認証取得等
- 2 ごみ箱の廃止、撤去(分別ボックス等の設置)
- 3 ごみ管理責任者の設置
- 4 生ごみの堆肥化
- 5 通函(通い箱)の活用など納入業者と協力した取り組み
- 6 ペーパーレス化の推進(コピー用紙等の削減)
- 7 自動販売機設置業者等による容器(空き缶等)の引き取り
- 8 その他(具体的に_____)

問4 (問 1で「3 あまり取り組んでいない」「4 全く取り組んでいない」と答えた方のみ) あなたの事業所でごみ減量に取り組んでいないのはなぜですか。(〇は3つまで)

- 1 ごみ処理を一括契約しているため、ごみ量が減っても処理料金は変わらないため
- 2 もともと処理料金が安いので、ごみが減っても効果的な経費削減にはならないため
- 3 分別等に手間がかかり従業員の協力が得られないため
- 4 減らす努力をするほどごみが出ないため
- 5 ごみ減量化より事業優先のため
- 6 その他(具体的に_____)

問5 あなたの事業所から出たごみは誰が管理していますか？（〇は1つ）

- 1 事業所内で責任者や担当を決めて管理している
- 2 本社、本店で一括して管理している
- 3 処理委託先が管理もやっている
- 4 事業所が入っているテナント会社や建物管理会社が管理している
- 5 その他（具体的に_____）

◎ あなたの事業所から出る事業系ごみ(事業系一般廃棄物)についてお聞きします。

問6 あなたの事業所ではごみはどのように処理していますか？（〇は1つ）

- 1 処理費を支払って収集運搬業者に委託している（⇒問7～問9へ）
- 2 自ら市町村の処理施設に持ち込んでいる（⇒問11へ）
- 3 本社等で各事業所のごみを一括して処理している（⇒問11へ）
- 4 家庭ごみが出される地域のごみ集積所に出している（⇒問10へ）
- 5 その他（具体的に_____）（⇒問11へ）

問7 （問6で「1 収集運搬業者に委託している」と答えた方のみ）
収集運搬業者との契約では、収集は週何回くらいですか。（〇は1つ）

- 1 週1回以下
- 2 週2回
- 3 週3回
- 4 週4回
- 5 週5回
- 6 週6回
- 7 その他(週_____回)

問8 （問6で「1 収集運搬業者に委託している」と答えた方のみ）
あなたの事業所では、ひと月あたりのごみ処理費はどのくらいですか。（〇は1つ）

- 1 毎月千円未満
- 2 毎月千円～5千円未満
- 3 毎月5千円～1万円未満
- 4 毎月1万円～3万円未満
- 5 毎月3万円～5万円未満
- 6 毎月5万円～10万円未満
- 7 毎月10万円～30万円未満
- 8 毎月30万円以上（おおよそ_____万円）

問9 （問6で「1 収集運搬業者に委託している」と答えた方のみ）
ごみの処理料金はどのように決めていますか？（〇は1つ）

- 1 実際に出したごみ袋の個数やごみの重さなどによって料金が決まるしくみになっている
- 2 一定量までは同額とし、それ以上はごみの量に応じて料金が決まるしくみになっている
- 3 出すごみの量に関係なく、まとめて「月いくら」「年いくら」などというように料金を決めている
- 4 その他（具体的に_____）

問10 (問6で「4 地域のごみ集積所に出している」と答えた方のみ)
 収集運搬業者にごみ処理を委託せず、地域のごみ集積所に出すのはなぜですか。
 (○は2つまで)

- 1 事業に伴って出るごみが少ないため
- 2 量が少なく業者が取りに来てくれないため
- 3 業者に委託すると、ごみ処理にかかる経費負担が大きくなるため
- 4 家庭ごみと事業ごみの区分けに手間がかかるため
- 5 地域のごみ集積所に出しておけば、市町村が収集してくれるため
- 6 その他(具体的に)

問11 1週間あたりのごみ排出量はおおよそどのくらいですか？45リットルのごみ袋に換算して、その個数でお答えください。(○は1つ)

- 1 45リットルごみ袋でおおよそ1袋未満
- 2 45リットルごみ袋でおおよそ1、2袋
- 3 45リットルごみ袋でおおよそ3、4袋
- 4 45リットルごみ袋でおおよそ5、6袋
- 5 45リットルごみ袋でそれ以上(おおよそ_____袋)
- 6 ほとんど出ない (⇒問13へ)

問12 あなたの事業所が出しているごみの中にはどのようなものが含まれていますか。
 1週間あたりの量について、次の品目ごとに容積比で記入してください。
 なお、ここで言う新聞、ダンボールなどは資源として分別されずに、生ごみなどと一緒に混ぜたまま出されているものの量を言います。

品目	回答欄		記入例
	ごみの構成		
生ごみ・厨芥類		割	1 割
木・草類		割	割
新聞		割	割
ダンボール		割	割
雑誌・書籍		割	割
事務用紙(コピー用紙等)		割	6 割
その他紙類		割	2 割
布類・繊維類		割	割
空きびん		割	割
空き缶		割	割
ペットボトル		割	1 割
その他プラスチック類		割	割
その他		割	割
合計		10割	10割

【記入例の説明】

たとえば、事業所から出されたごみの中身が、シュレッダーしたコピー用紙が約6割、ちり紙や紙くずが約2割、出がらしのお茶や弁当の食残しが約1割、ペットボトルが約1割というときは、このように記入してください。合計が10割となるよう、ご注意ください。

◎ あなたの事業所が資源として分別しているものについてお聞きします。

問13 あなたの事業所が資源として分別し、リサイクルしているものについて、品目ごとに1週間当たりの排出量と処理方法を、記入例を参考に記入してください。

品目	1週間当たりの発生量の記入欄 (①か②のいずれかの欄に記入してください)		処理方法の記入欄
	①()におおよその数を記入	②具体的に重さを記入	③選択肢から当てはまる番号1つに○
生ごみ・厨芥類	45リットルごみ袋()袋程度	kg/週	1 2 3 4 5 6 7
木・草類	45リットルごみ袋()袋程度	kg/週	1 2 3 4 5 6 7
新聞	朝刊()部程度	kg/週	1 2 3 4 5 6 7
ダンボール	みかん箱()箱程度	kg/週	1 2 3 4 5 6 7
雑誌・書籍	週刊誌()冊程度	kg/週	1 2 3 4 5 6 7
事務用紙(コピー用紙等)	A4判()枚程度	kg/週	1 2 3 4 5 6 7
その他紙類	45リットルごみ袋()袋程度	kg/週	1 2 3 4 5 6 7
布類・繊維類	45リットルごみ袋()袋程度	kg/週	1 2 3 4 5 6 7
空きびん	空きびん()本程度	kg/週	1 2 3 4 5 6 7
空き缶	空き缶()本程度	kg/週	1 2 3 4 5 6 7
ペットボトル	500mlサイズ()本程度	kg/週	1 2 3 4 5 6 7
その他プラスチック類	45リットルごみ袋()袋程度	kg/週	1 2 3 4 5 6 7

記入例①: 生ごみ・厨芥類	45リットルごみ袋()袋程度	30 kg/週	1 2 3 4 5 6 7
記入例②: 新聞	朝刊(20)部程度	kg/週	1 2 3 4 5 6 7

【記入例の説明】

- ① 資源として分別した生ごみは、1週間当たり約30kgで、自社の施設で堆肥化し、敷地内の植木、花壇に堆肥として活用している。
- ② 新聞は、1週間当たり約20部で、ある程度貯めてから古紙回収業者に売却している。

●処理方法の選択肢

- 1 業者等に有償または無償で引き渡している
- 2 業者等に売却している
- 3 家庭ごみが出される地域のごみ集積所に出している
- 4 子ども会等が行う集団回収に出している
- 5 小売店や販売店の店頭回収に出している
- 6 納入業者等に返却している
- 7 堆肥化するなど自社内で処理している

◎ 今後の方策や意向についてお聞きします。

問14 今後あなたの事業所で特に減らしたいと考えているごみは何ですか。（当てはまるすべてに○）

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1 生ごみ・厨芥類 | 2 木・草類 |
| 3 新聞 | 4 ダンボール |
| 5 雑誌・書籍 | 6 事務用紙(コピー用紙等) |
| 7 その他紙類 | 8 布類・繊維類 |
| 9 空きびん | 10 空き缶 |
| 11 ペットボトル | 12 その他プラスチック類 |
| 13 その他（具体的に |) |
| 14 特に減らしたいと考えるごみはない | |

問15 あなたの事業所では、ごみの減量目標は定めていますか。（○は1つ）

- | | |
|----------------------------|--------------------|
| 1 すでに定めている | 2 現段階ではないが定める予定がある |
| 3 現段階では定めておらず、今後定めるかどうかは不明 | |

問16 あなたの事業所では、ごみを減らしたり、リサイクルを進めるに当たってどのような問題がありますか。（○は2つまで）

- | | |
|---|---|
| 1 どのようにすれば、ごみを減らしたり、リサイクルできるのか、その方法がわからない | |
| 2 資源として分別しても、量が少ないため、リサイクルのシステムがつかれない | |
| 3 事業系ごみ(事業系一般廃棄物)と産業廃棄物の区分が障害になっている | |
| 4 ごみを減らした分だけ、経費が削減できるしくみになっていない | |
| 5 事業系ごみ(事業系一般廃棄物)のことがよくわからない | |
| 6 ごみの減量と事業が両立しない | |
| 7 その他(具体的に |) |

問17 ごみに関する情報を、あなたの事業所はどのような方法で手に入れていますか？（○は3つまで）

- | | |
|----------------------------|------------------|
| 1 市町村の広報やパンフレットを通じて | 2 市町村のホームページを通じて |
| 3 市町村等主催の説明会を通じて | 4 市町村の訪問指導を通じて |
| 5 新聞などマスコミを通じて | 6 業界からの情報を通じて |
| 7 商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて | |
| 8 処理業者からの情報を通じて | |
| 9 その他（具体的に |) |

問18 今後の具体的なごみ減量やリサイクルの取り組みを検討するうえでぜひ欲しいと思う情報はありますか。(〇は3つまで)

-
- 1 処理業者・資源回収業者に関する情報
 - 2 法律や条例等の規制に関する情報
 - 3 県や市町村が実施する環境関連事業に関する情報
 - 4 今後の政策など国や県等の動向に関する情報
 - 5 ごみ減量化やリサイクルに関する成功事例や失敗事例
 - 6 その他(具体的に_____)
 - 7 特に必要ない

◎ あなたの事業所についてお聞きします。

問19 あなたの事業所はどのような業種にあてはまりますか。(〇は1つ)

-
- | | |
|-------------------|-----------|
| 1 農林漁業 | 2 建設業 |
| 3 食品製造業 | 4 その他の製造業 |
| 5 電気・ガス・熱供給・水道業 | 6 情報通信業 |
| 7 運輸業 | 8 卸売業 |
| 9 小売業 | 10 金融・保険業 |
| 11 不動産業 | 12 飲食店 |
| 13 宿泊業 | 14 医療、福祉 |
| 15 教育、学習支援業 | 16 サービス業 |
| 17 公務 | |
| 18 その他(具体的に_____) | |

問20 あなたの事業所はどのような建物形態ですか。(〇は1つ)

-
- 1 事業所は独立した1つの建物となっている
 - 2 事業所はテナントビルや住宅用マンションの中に入居している
 - 3 事業所は自宅と兼用になっている
 - 4 その他(具体的に_____)

問21 あなたの事業所の従業員は何名ですか。(〇は1つ)

-
- | | | |
|------------|----------|----------|
| 1 1~4人 | 2 5~9人 | 3 10~19人 |
| 4 20~29人 | 5 30~49人 | 6 50~99人 |
| 7 100~299人 | 8 300人以上 | |

問22 事業所の所在地はどちらですか。(〇は1つ)

- | | | | |
|---------|---------|--------|----------|
| 1 津市 | 2 四日市市 | 3 伊勢市 | 4 松阪市 |
| 5 桑名市 | 6 伊賀市 | 7 鈴鹿市 | 8 名張市 |
| 9 尾鷲市 | 10 亀山市 | 11 鳥羽市 | 12 熊野市 |
| 13 久居市 | 14 いなべ市 | 15 志摩市 | 16 多度町 |
| 17 長島町 | 18 木曾岬町 | 19 東員町 | 20 菰野町 |
| 21 楠町 | 22 朝日町 | 23 川越町 | 24 関町 |
| 25 河芸町 | 26 芸濃町 | 27 美里村 | 28 安濃町 |
| 29 香良洲町 | 30 一志町 | 31 白山町 | 32 嬉野町 |
| 33 美杉村 | 34 三雲町 | 35 飯南町 | 36 飯高町 |
| 37 多気町 | 38 明和町 | 39 大台町 | 40 勢和村 |
| 41 宮川村 | 42 玉城町 | 43 二見町 | 44 小俣町 |
| 45 南勢町 | 46 南島町 | 47 大宮町 | 48 紀勢町 |
| 49 御歯村 | 50 大内山村 | 51 度会町 | 52 紀伊長島町 |
| 53 海山町 | 54 御浜町 | 55 紀宝町 | 56 紀和町 |
| 57 鵜殿村 | | | |

●ごみゼロ社会をつくっていくにあたって、ご意見等あれば、自由にご記入ください。

質問は以上です。お忙しいところご協力いただき、どうもありがとうございました。

三重県のごみゼロホームページ (<http://www.eco.pref.mie.jp/gyousei/keikaku/gomi0/zero/>) もぜひご覧ください。ホームページには、「ごみゼロ社会実現プラン」の策定状況などの情報を掲載しています。